

地域医療支援病院業務報告書

平成 29 年 10 月 5 日

(宛先)川崎市長 様

住 所 川崎市川崎区宮本町1

氏 名 川 崎 市 長 福 田 紀 彦 印

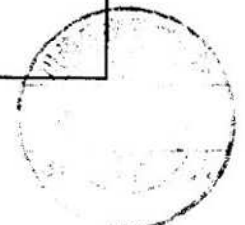


法人にあつては、主たる事務所の所在地
名称及び代表者の氏名

電話番号 044-200-2111(代表)

28年度の業務に関して報告します。

名 称	川崎市立川崎病院	電 話	044-233-5521
所在地	川崎市川崎区新川通12-1		
病床数	713 床		
病床種別	精神病床 38 床	感染症病床 12 床	結核病床 0床
	療養病床 0 床	一般病床 663 床	
施設の構造設備の概要			
集中治療室	院内の名称 ICU (主な設備) 病床数 8 床 人工呼吸器、セントラルモニタ、全自動血液ガス分析装置、外別紙1-1 のとおり 特定集中治療室管理料3 受理番号 (集3)第30号 算定開始年月日 平成26年11月1日		
化学検査室	院内の名称 検体検査室 (主な設備) 生化学自動分析装置、全自動グルコース測定装置、グリコヘモグロビン分析装置、外別紙1-2 のとおり		
細菌検査室	院内の名称 細菌検査室 (主な設備) 血液培養装置、全自動同定・感受性検査装置/感染制御システム 別紙1-3 のとおり		
病理検査室	院内の名称 病理検査室 (主な設備) 電子顕微鏡、自動封入装置、自動染色装置、蛍光顕微鏡、外別紙1-4 のとおり		
病理解剖室	院内の名称 解剖室 (主な設備) 病理検査支援システム、解剖台 別紙1-5 のとおり		



研究室	院内の名称 研究室 (主な設備) 9.5 m ² パソコン、電子カルテ端末、電話、 別紙1-6 のとおり	収容人数 6~10名
講義室	院内の名称 講堂 (主な設備) 145.2 m ² 室数 1 室 プロジェクター マイク 別紙1-7 のとおり	収容定員 120人 可動式
図書室	院内の名称 図書室 (主な設備) 室数 1 室 蔵書数 12,000 冊程度 別紙1-8 のとおり	
救急用又は患者搬送用自動車	院内の名称 救急自動車 (主な設備) 保有台数 1 台 トヨタTC-VCH32S 別紙1-9 のとおり	
医薬品情報管理室	院内の名称 DI室(専用室) (主な設備) 12.3 m ² 室数 1 室 パソコン 6台 別紙1-10 のとおり	

(注意) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入してください。

- 添付書類
- 1 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績に関する書類
 - 2 地域の医療従事者による診療、研究又は研修のために利用(共同利用)の実績に関する書類
 - 3 救急医療の提供の実績に関する書類
 - 4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績に関する書類
 - 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類
 - 6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績に関する書類
 - 7 医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績に関する書類
 - 8 患者相談の実績に関する書類

	機器名称	規格	数量
1	クーデックシリンジポンプ	CSP-100	18
2	クーデックシリンジ用 ポンプユナイター	PU3-200S	6
3	ビジレオモニター	MHM-1	1
4	セントラルモニタ	オムロン MP100D	3
5	ビジランスヘモダイナミックモニター	VIG2AP/OM-2/VIG2S	2
6	内視鏡ビデオ画像プロセッサ	OTV-SC	2
7	外部電源式内視鏡用光源装置	CLH-SC	2
8	移動型X線撮影装置	Mobile Art Revolution	1
9	全自動血液ガス分析装置	ノバ・バイオメディカルCCX	1
10	吸引器	S-711	12
11	吸引器	S901	2
12	咽頭ファイバースコープ	LF-TP	1
13	超音波診断装置	SONOS5500	1
14	輸液ポンプ	TE-261	3
15	CEDV測定装置一式VGSV2	VGSV2	2
16	ICU ترامラック	TR-400P	11
17	酸素ブレンダー	Model1500	10
18	ガートル台付ポンベカート	RR-972	2
19	心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス Vigilance2	3
20	非侵襲的人工呼吸器	フィリップス・レスピロニクス V60	1
21	便尿器消毒機	ゲッティング S406	1
22	人工呼吸器	ドレーゲルメディカル エビタ4	4
23	人工呼吸器	ドレーゲル エビタXL	2
24	人工呼吸器	PB980TYPE U	1
25	除細動器	日本光電 TEC-5631	1
26	持続緩徐式血液濾過装置	旭メディカル Plasauto iQ	2

27	在室患者監視システム	オムロンコーリン ベッドサイドモニタ Solar8000i	10
28	ICU天井懸垂システム	インケアポートMODEL-277	1
29	高機能ICUベッド	パラマウントベッド KH-151	1
30	移動型X線撮影装置	日立 Sirius 130HP	1
31	持続緩線式血液浄化装置	旭メディカル ACH-Σ	1
32	フラッシュャーディスインフェクター	グティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1

別紙 1-2 化学検査室

化学検査室

	機器名称	規格	数量
1	生化学自動分析装置	BM-2250	2
2	全自動グルコース測定装置	GA-1170	1
3	グリコヘモグロビン分析装置	HA-8180	1
4	免疫測定装置	ARCHITECTi2000SR	1
5	CLEIA測定機器	LUMIPULSE Presto II	2
6	血中アンモニア測定装置	FDC-100N	1
7	血清ビリルビン分光光度計	B-105N	1

別紙 1-3 細菌検査室

細菌検査室

	機器名称	規格	数量
1	血液培養装置	シスメックス・ピオメリュー バクテアラート3D 360型	1
2	全自動同定・感受性検査装置/感染制御システム	ベックマン・コールター マイクロスキャンWALKAWAY96Plus	1

別紙 1-4 病理検査室

病理検査室

	機器名称	規格	数量
1	電子顕微鏡	日本電子 JEM-1010	1
2	自動封入装置	サクラ精機 SGC-400-D	1
3	自動染色装置	サクラ精機 DRS-2000B	2
4	蛍光顕微鏡	本体 ニコン ECLIPSE E800	1
5	密閉式自動固定包埋装置	サクラファインテックジャパン ETP-5-F	2
6	凍結組織切片作製装置	サクラファインテック ティッシュテッククライオ	2
7	全自動免疫染色装置	ライカ Bond-max	1
8	病理検査支援システム	インテック Expath II	1

別紙 1-5 病理解剖室

病理解剖室

	機器名称	規格	数量
1	解剖台	サクラ精機 KBH-LA	1

別紙 1-6 研究室

面積 9.5㎡

パソコン1台(インターネット接続)

電話1台

電子カルテ端末 1台

平面図は別に添付

※ 連携登録医の受入を円滑にする目的で、別途「連携登録医室(鍵、ロッカー付)」も設置している。

別紙 1-7 講義室

面積 145.2㎡

収容定員 120名（可動式座席1式）

プロジェクター 1台

別紙1-7 のとおり

別紙 1-8 図書室

書籍数	約 4,900冊
製本雑誌	約 5,500冊
購読雑誌	143誌(タイトル数)
蔵書数 計	約 10,400冊

電子ジャーナル 27誌

電子ジャーナルパッケージ Fixed10, Journals Consult, Clinical key
(雑誌 約600誌, 書籍約, 1,100冊)

検索システム	医学中央雑誌web版	UpToDate	最新看護検索web
	メディカルオンライン	PubMed	今日の診療(DVD版)
パソコン	イントラPC 2台	インターネットPC	5台
	スタンドアローン 2台		
	業務用 1台		

※ スタンドアローンの1台を除き、印刷が可能。

プロジェクター 3台(貸出)

上記スクリーン 2台(貸出)

平面図は別に添付

別紙 1-9 救急用自動車

地域医療支援病院用	1 台	(別に、DMAT用の救急車が1台ある)
型 式	トヨタ	TC-VCH32S
車台番号	VCH32-0001745	
自動車登録番号	川崎 800 す 2152	

救急自動車使用届出確認書、自動車検査証及び写真は別に添付

別紙 1-10 DI室

パソコン等	イントラPC 1台	インターネットPC 2台
	一般薬剤用PC 2台	麻薬専用PC 1台
	電子カルテ用端末 1台	

平面図は別に添付

(様式例 第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されている
 ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	56.7%	算定 期間	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 3 1 日
地域医療支援病院 逆紹介率	79.6%		
算出 根拠	A : 紹介患者の数		11,114人
	B : 初診患者の数		19,610人
	C : 逆紹介患者の数		15,618人

- (注) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その1

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
2	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
3	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
4	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
5	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
6	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
7	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
8	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
9	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
10	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
11	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
12	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
13	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
14	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
15	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
16	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
17	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
18	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
19	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
20	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	整形外科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その2

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
21	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	整形外科
22	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	整形外科
23	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	整形外科
24	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	整形外科
25	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	整形外科
26	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	整形外科
27	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	整形外科
28	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	歯科口腔外科
29	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	歯科口腔外科
30	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	歯科口腔外科
31	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	歯科口腔外科
32	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	歯科口腔外科
33	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	心臓血管外科
34	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	心臓血管外科
35	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 17時～8時30分 オンコール	泌尿器科
36	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	泌尿器科
37	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	泌尿器科
38	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	泌尿器科
39	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	泌尿器科
40	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	循環器内科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その3

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
41	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	循環器内科
42	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	循環器内科
43	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	循環器内科
44	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	外科
45	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	外科
46	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	外科
47	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	外科
48	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	外科
49	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	外科
50	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	外科
51	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	呼吸器外科
52	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	外科
53	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	消化器外科
54	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	乳腺外科
55	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	小児外科
56	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	脳神経外科
57	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	脳神経外科
58	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	脳血管外科
59	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	脳血管外科
60	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	形成外科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その4

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
61	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	形成外科
62	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	形成外科
63	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	内視鏡
64	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	放射線診断
65	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	放射線診断
66	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	放射線診断
67	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	放射線診断
68	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	放射線治療
69	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	放射線治療
70	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	放射線治療
71	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	眼科
72	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	眼科
73	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	眼科
74	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	眼科
75	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	麻酔科
76	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	麻酔科
77	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	麻酔科
78	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	麻酔科
79	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	麻酔科
80	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	麻酔科

※ 「tPA」とは脳梗塞の治療の開始に関するものである。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その5

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
81	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	麻酔科
82	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	麻酔科
83	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	麻酔科
84	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	麻酔科
85	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	精神科
86	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	精神科
87	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	精神科
88	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	精神科
89	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	精神科
90	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	精神科
91	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	精神科
92	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	産科
93	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	産科
94	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	産科
95	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	産科
96	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	婦人科
97	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	婦人科
98	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション・オンコール	婦人科
99	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～18時 上記時間外 ローターション・オンコール	婦人科
100	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～18時 上記時間外 ローターション・オンコール	新生児内科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その6

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
101	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション・オンコール	新生児内科
102	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション・オンコール	新生児内科
103	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション・オンコール	新生児内科
104	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション・オンコール	新生児内科
105	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	新生児内科
106	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	新生児内科
107	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	小児科
108	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	小児科
109	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	小児科
110	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	小児科
111	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション・オンコール	小児科
112	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション・オンコール	小児科
113	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション・オンコール	小児科
114	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション・オンコール	小児科
115	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	小児科
116	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	小児科
117	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	小児科
118	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ローターション (土曜日・休日を含む)	小児科
119	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション・オンコール	内科
120	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション・オンコール	内科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その7

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
121	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	小児科
122	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	小児科
123	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	小児科
124	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	小児科
125	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ロテーション (土曜日・休日を含む)	小児科
126	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ロテーション (土曜日・休日を含む)	小児科
127	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ロテーション (土曜日・休日を含む)	小児科
128	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ロテーション (土曜日・休日を含む)	小児科
129	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ロテーション (土曜日・休日を含む)	小児科
130	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ロテーション (土曜日・休日を含む)	小児科
131	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	17時～8時30分 ロテーション (土曜日・休日を含む)	小児科
132	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	内科
133	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	内科
134	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	内科
135	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	内科
136	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	内科
137	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	内科
138	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	内科
139	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	内科
140	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	内科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その8

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
141	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	内科
142	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	内科
143	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	耳鼻咽喉科
144	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	耳鼻咽喉科
145	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	耳鼻咽喉科
146	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	耳鼻咽喉科
147	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	耳鼻咽喉科
148	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	リハビリテーション科
149	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	リハビリテーション科
150	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	リハビリテーション科

(様式四) 提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その9

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
2	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
3	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
4	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
5	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
6	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
7	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
8	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
9	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
10	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
11	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
12	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
13	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
14	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
15	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
16	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
17	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
18	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
19	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
20	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その10

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
22	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科
23	検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	検査科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その11

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
2	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
3	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
4	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
5	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
6	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
7	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
8	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
9	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
10	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
11	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
12	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
13	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
14	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
15	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
16	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
17	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
18	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
19	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
20	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その12

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考	
21	薬剤師		常勤 非常勤	専従 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
22	薬剤師		常勤 非常勤	専従 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部
23	薬剤師		常勤 非常勤	専従 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	薬剤部

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その13

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
2	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
3	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
4	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
5	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
6	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
7	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
8	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
9	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
10	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
11	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
12	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
13	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
14	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
15	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
16	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
17	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
18	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
19	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
20	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その14

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
21	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
22	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
23	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
24	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
25	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
26	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
27	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
28	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
29	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科
30	放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	放射線診断科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その15

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	ME技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	麻酔科
2	ME技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	麻酔科
3	ME技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	麻酔科
4	ME技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	麻酔科
5	ME技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	麻酔科
6	ME技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 オンコール	麻酔科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その16

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
2	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
3	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
4	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
5	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
6	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
7	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
8	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
9	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
10	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
11	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
12	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
13	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
14	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
15	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
16	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
17	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
18	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
19	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
20	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その17

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
21	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
22	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
23	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
24	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
25	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
26	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
27	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
28	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
29	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
30	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
31	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
32	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
33	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
34	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救命救急
35	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
36	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
37	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
38	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
39	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
40	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その18

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
41	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
42	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
43	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
44	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
45	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
46	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
47	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
48	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
49	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
50	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
51	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	EICU
52	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	感染・ER
53	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	感染・ER
54	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
55	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
56	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
57	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
58	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
59	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
60	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その19

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
61	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
62	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
63	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
64	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
65	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
66	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
67	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
68	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
69	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
70	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
71	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
72	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
73	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
74	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
75	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
76	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
77	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
78	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
79	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来
80	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	外 来

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その20

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
81	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
82	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
83	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
84	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
85	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
86	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
87	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
88	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
89	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
90	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
91	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
92	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
93	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
94	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
95	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
96	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
97	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
98	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
99	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
100	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その21

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
101	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
102	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
103	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
104	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
105	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
106	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
107	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
108	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
109	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
110	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
111	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
112	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
113	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
114	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室
115	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	手術室

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床		床
専用病床	ER 16 床	EICU 4 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター	266.91 m ²	(主な設備) 別紙 3-1のとおり	可
EICU	70.69 m ²	(主な設備) 別紙 3-2のとおり	可
一般撮影室	612.70 m ²	(主な設備) 別紙 3-3のとおり	可
CT室	262.90 m ²	(主な設備) 別紙 3-4のとおり	可
MR検査室	212.70 m ²	(主な設備) 別紙 3-5のとおり	可
生理検査室	356.50 m ²	(主な設備) 別紙 3-6のとおり	可
検体検査室	338.90 m ²	(主な設備) 別紙 3-7のとおり	可
ICU/CCU	167.42 m ²	(主な設備) 別紙 3-8のとおり	可
NICU/GCU	123.89 m ²	(主な設備) 別紙 3-9のとおり	可
内視鏡センター	201.40 m ²	(主な設備) 別紙 3-10のとおり	可
手術室	401.94 m ²	(主な設備) 別紙 3-11のとおり	可
透析室	83.20 m ²	(主な設備) 別紙 3-12のとおり	可
ヘリポート	249.30 m ²	(主な設備) 別紙 3-13のとおり	可

4 備考 別紙 3-14 3-15 及び 3-16 のとおり

救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院認定
 救急病院認定 「救急病院等の認定について(通知)平成28年12月6日(医第 432 号)」
 平成 29 年 2 月 1 日から平成 32 年 1 月 31 日まで
 神奈川県告示第2555号 平成 26 年 2 月 7 日

救急医療対策事業実施要綱(昭和52年7月6日付医発第692号厚生省医務局長通知)に規定する指定
 救命救急センターの指定 「救命救急センターの指定について(通知)平成18年3月29日(医第 876号)」

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
 既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院
 の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692
 号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載するこ
 と。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,955人 (1,649 人)
上記以外の救急患者の数	21,558人 (1,816 人)
合計	26,513人 (3,465 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車 別紙 1-9 のとおり

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

	機器名称	規 格	数 量
1	全身用X線CT装置	東芝 TSX-101A Aquilion CX	1
2	一般X線撮影装置	島津 UD150B-40 CH-200	1
3	移動型X線撮影装置	島津 MOBILE Art Lumina	1
4	高機能ICUベッド	ヒルロム トータルスポーツケア	1
5	救急用ストレッチャー	日本ストライカー SM204	1
6	ポータブル超音波診断装置	ソノサイトジャパン マイクロマックス	1
7	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-2301	7
8	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-7105	1
9	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-7106	1
10	全自動血液ガス分析装置	バイエルメディカル ラピッドポイント405	1
11	人工呼吸器	P200D	1
12	搬送用人工呼吸器	ドレーゲルメディカル オキシログ3000	2
13	血液透析濾過装置	旭化成メディカル Plasauto iQ21	1
14	超音波診断装置	SSA-240A	1
15	フラッシュャーディスインフェクター	GETINGE607LCC-2P-50	1
16	超音波診断装置(救急用)	富士フイルムメディカル FAZONE M	1
17	経皮的心肺補助装置	テルモ キャピオックスEBS	1
18	小型冷温水層	メラ HHC-51	1
19	高機能患者シミュレータ	METI(アイエムアイ) ECS成人モデル	1
20	ストレッチャー	K-726 他	11
21	二又アウトレット	MS2-OS	1
22	体温管理システム	アークティックサン モデル2000	1
23	処置診断用照明機器	山田医療照明 SKYPET II	1
24	手術用无影灯	山田医療照明U6360他	2
25	挿管用咽頭鏡	AWS-S100L	3
26	携帯型軟性内視鏡	MAF-GM	1

27	深部体温計	CM-210	2
28	産婦人科診察台	DG-310	1
29	薬用冷蔵冷凍庫	MPR-215F-PJ	1
30	製氷機	ICE MAKER20	1
31	輸血・輸液加温器	H-1000 他	2
32	酸素流量計・圧力調整器	G-10L 他	3
33	除細動器	TEC-5631	1
34	電動診察台	EX-2V	1
35	心電計	ECG-2550	1
36	ミニドップレックスドブラー		1
37	全自動血圧計	TM2655P	1
38	急性期患者情報システム	オムロン ERシステム	1
39	心臓マッサージシステム	LUCAS YM2	1
40	患者加温装置	タイコ ウォームタッチモデルS200	1

	機器名称	規格	数量
1	エアーマット	CR-280 他	2
2	ガウン滅菌器	ISC-SSA-E	1
3	人工呼吸器	ドレーゲルメディカル エビタ4	3
4	人工呼吸器	ドレーゲルメディカル ザビーナ	2
5	シリンジポンプ	クーデック CSP-100S	20
6	シリンジポンプ	テルモ TE-331S 他	12
7	シャウカステン	10inverter Moryama x-ray	1
8	医用テレメーター	日本光電 WEP-5105 他	21
9	デジタル体重計	BWB-627	1
10	ストレッチャー	K726	1
11	温蔵庫	HC-18S	1
12	冷蔵庫	GF-H13H	1
13	処置灯	No.30S	2
14	吸引器	S-711	18
15	心電計	ECG-1250	1
16	殺菌線消毒ロッカー		1
17	汎用血液ガス分析装置	405システム	1
18	フラッシュャーディスインフェクター	GETINGE607LCC-50	1
19	清拭車	NS-910	1
20	無音振冷蔵庫	TY-C15	1
21	熱風食器消毒保管器	ISC-SSA-E	1
22	空気清浄機	ACP-895BH-AI	1
23	薬用冷蔵ショーケース	DC-ME31A	1
24	製氷機	CM-60A	1
25	解析機能付セントラルモニタ	CNS-9701	2
26	超音波診断装置	ソノサイト LO432b 他	2

27	輸液ポンプ	JMS OT-888	30
28	間欠型空気圧式マッサージ器	ノバメディックス	1
29	除細動器	日本光電 TEC-5631 他	2
30	電動ICUベッド	モデル1900	7

別紙 3-3 一般撮影室

一般撮影室

	機器名称	規格	数量
1	一般X線撮影装置	東芝 MRAD-A80S	6
2	乳房用X線撮影装置	東洋メディック diamond	1
3	遠隔式X線透視撮影装置	島津 C-vision Safire17	1
4	遠隔式X線透視撮影装置	島津 SONIALVISION G4	1
5	移動型X線撮影装置	島津 CALNEO Go	1
6	パノラマ撮影X線装置	モリタ X500CP-CR	1

別紙 3-4 CT室

CT室

	機器名称	規格	数量
1	全身用X線CT装置	東芝 TSX-101A Aquilion NA	1
2	全身用X線CT装置	東芝 TSX-101A Aquilion NA/HA	1

別紙 3-5 MR検査室

MR検査室

	機器名称	規 格	数量
1	超伝導式磁気共鳴画像診断装置	フィリップス Intera Achieva NOVA Dual 1.5T	1
2	超伝導式磁気共鳴画像診断装置	フィリップス Intera Achieva NOVA Dual 1.5T	1

別紙 3-6 生理検査室

生理検査室

	機器名称	規格	数量
1	脳波検査システム	日本光電 EEG-1218	1
2	超音波診断装置(生理検査)	東芝メディカルシステムズ AplioXG	1
3	心電計	日本光電 ECG-2550	1
4	心電計	日本光電 ECG-1550	3
5	脳波計	日本光電 EEG-1214	1

別紙 3-7 検体検査室

検体検査室

	機器名称	規格	数量
1	生化学自動分析装置	BM-2250	2
2	全自動グルコース測定装置	GA-1170	1
3	免疫測定装置	ARCHITECTi2000SR	1
4	CLEIA測定機器	LUMIPULSE Presto II	2
5	血中アンモニア測定装置	FDC-100N	1
6	血清ビリルビン分光光度計	B-105N	1
7	自動血球分析装置	XE-5000	2
8	血液凝固分析装置	CS-2100i	2
9	血液ガス測定装置	Rapidlab 1265	2
10	全自動尿分析装置	AX-4030	1
11	電解質分析装置	PVA-EX II	1
12	浸透圧測定装置	OM-6040	1
13	尿自動分析装置	クリニテック-500	1

別紙 3-8 ICU/CCU

			ICU
	機器名称	規格	数量
1	クーデックシリンジポンプ	CSP-100	18
2	クーデックシリンジ用 ポンプユナイター	PU3-200S	6
3	ビジレオモニター	MHM-1	1
4	セントラルモニタ	オムロン MP100D	3
5	ビジランスヘモダイナミックモニター	VIG2AP/OM-2/VIG2S	2
6	内視鏡ビデオ画像プロセッサ	OTV-SC	2
7	外部電源式内視鏡用光源装置	CLH-SC	2
8	移動型X線撮影装置	Mobile Art Revolution	1
9	全自動血液ガス分析装置	ノバ・バイオメディカルCCX	1
10	吸引器	S-711	12
11	吸引器	S901	2
12	咽頭ファイバースコープ	LF-TP	1
13	超音波診断装置	SONOS5500	1
14	輸液ポンプ	TE-261	3
15	CEDV測定装置一式VGSV2	VGSV2	2
16	ICUトラムラック	TR-400P	11
17	酸素ブレンダー	Model1500	10
18	ガートル台付ポンベカート	RR-972	2
19	心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス Vigilance2	3
20	非侵襲的人工呼吸器	フィリップス・レスピロニクス V60	1
21	便尿器消毒機	ゲッテンゲ S406	1
22	人工呼吸器	ドレーゲルメディカル エビタ4	4
23	人工呼吸器	ドレーゲル エビタXL	2
24	人工呼吸器	PB980TYPE U	1
25	除細動器	日本光電 TEC-5631	1
26	持続緩徐式血液濾過装置	旭メディカル Plasauto iQ	2

27	在室患者監視システム	オムロンコーリン ベッドサイドモニタ Solar8000i	10
28	ICU天井懸垂システム	インケアポートMODEL-277	1
29	高機能ICUベッド	パラマウントベッド KH-151	1
30	移動型X線撮影装置	日立 Sirius 130HP	1
31	持続緩線式血液浄化装置	旭メディカル ACH-Σ	1
32	フラッシュャーディスインフェクター	グティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1

	機器名称	規格	数量
1	鼻腔式持続陽圧呼吸補助装置	エアウォーター インファントフローサイ パップ	2
2	超音波診断装置	東芝 Xario	1
3	新生児用聴覚検査装置	日本光電 MAAS	1
4	新生児用人工呼吸器	ドレーゲル Babylog 8000plus	4
5	新生児用人工呼吸器	イワキ カリオベα	2
6	光凝固装置	エレックス ソリティア	1
7	血液ガス分析装置	ラジオメーター ABL835FLEX	1
8	CRシステム	コダック CR ELITE-19	1
9	ポータブルX線撮影装置	シーメンス MOBILETT XP	1
10	CRP測定器	日水製薬 エバネットEV20	1
11	脳機能モニタ	アイエムアイ16ch 124 01 20	1
12	呼吸機能測定装置	アイビジョンアーフェルⅢ	1
13	閉鎖式保育器	アトムメディカル	10
14	生体情報モニター	フィリップス MP50	5
15	体温管理システム	アイ・エム・アイ アークティックサン	1
16	搬送用保育器	アトムメディカル V-808 SpO2	2
17	開放型保育器	アトムメディカル インファウオーマーI	1
18	閉鎖循環式保育器	アトムメディカル インキュI	2
19	保育器(超未熟児用)	アトム V-2100HL	2

	機器名称	規格	数量
1	内視鏡画像ファイリングシステム	オリンパス光学 EVIS-NET	1
2	電子内視鏡システム	フジノン東芝ESシステム EL2-TF410	1
3	電子内視鏡システム	オリンパスEVIS ルセラ260システム	1
4	電子内視鏡システム	オリンパス CV-260SI 他	1
5	大腸ファイバースコープ	オリンパス CF200HL 他	2
6	大腸ビデオスコープ	オリンパスEVIS LUSER PCF240i	1
7	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q260A	2
8	大腸ビデオスコープ	オリンパス CF-Q240Zi	1
9	大腸ビデオスコープ	オリンパス CF-230i	1
10	上部消化管用ビデオスコープ	オリンパス GIF200, GIF-XQ230	2
11	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q260	2
12	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	3
13	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	1
14	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260Z	2
15	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260	1
16	上部消化管処置用2チャンネル内視鏡	オリンパス GIE-2T20	1
17	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	1
18	十二指腸用電子スコープ	オリンパス JF-240	1
19	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス EVIS240	1
20	十二指腸ファイバースコープ	オリンパスJF1T20 OES, JF-IT30	2
21	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス TJF-240	1
22	下部消化管用ビデオスコープ	オリンパス PCF-230	1
23	下部消化管ビデオスコープ	オリンパス PCF-240L/1	1
24	ベットサイドモニター	日本光電 BSM-83D1	1
25	ファイバースコープ	オリンパス BF-240	1
26	内視鏡管理システム	オリンパス SolemioENDO	1

27	高周波手術装置	エルベ VIO-300D	1
28	気管支ビデオスコープ	オリンパス EVISLUCERA BF-6C260	1
29	アルゴンプラズマシステム	アムコ アルゴンプラズマ APC300 他	1
30	BF用電子スコープ	オリンパス BF-240	1
31	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260Z	2
32	消化器内視鏡システム	オリンパス EVIS LUCERA SPECTRUM	2
33	気管支超音波穿刺システム	オリンパス スコープ BF-UC260F-OL8/観測装置EU-C2000	1
34	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-XP260F	1
35	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q26AI	1
36	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260Z	1
37	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q2660AZI	1
38	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス JF-260V	1
39	超音波内視鏡システム	オリンパス EU-ME1他	1
40	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-XP260F	1
41	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-XP260NS	1
42	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-260	1
43	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス JF-260V	1
44	内視鏡室マネジメントシステム	Solemio ENDO Ver. 4	1
45	電子内視鏡システム	LUCERA ELITE CV-290	1
46	電子内視鏡システム	オリンパス	1

	機器名称	規格	数量
1	弁手術用開胸器システム	St. Jude Medical KS-7002 他	1式
2	整形外科腹腔鏡下手術システム	カールストルツ エンドビジトリカム 他	1式
3	婦人科用腹腔鏡システム	オリンパス UHI-3 他	1式
4	外科内視鏡システム	オリンパスCLV-190他	6
5	耳鼻科用内視鏡手術装置	ストライカー MV-882TE 他	2
6	泌尿器科内視鏡システム	オリンパスOEV191H-J	1
7	脳神経外科内視鏡セット	オリンパス工業 光学視管(A7500A)他	1式
8	脳外科用手術顕微鏡	OPMI CS-NC+NC2	1
9	尿管鏡	原田産業 M3テレスコープ 他	1
10	頭部固定装置(バデーハローリトラクター)		1
11	電動手術台(手術台テーブル)	マッケ・ジャパン 1150. 15DO	1
12	電子内視鏡	フジノン EL2-TF410 TYPE41	1
13	電子スコープ	フジノン EL2-TF410	1
14	電気手術装置システム	エルベ VIO300D	1
15	電気手術装置	アムコ VIO300D	1
16	電気メス装置	エルボトーム ICC350	1
17	電気メス	バリーラブ フォースFX 本体 他	3
18	超音波診断装置(外科)	SSA-240A	1
19	超音波凝固切開装置	ジョンソン・エンド・ジョンソンハーモニック スカルペルII 他	1
20	超音波画像診断装置	LOGIQ S8 GE	1
21	創外固定器システム		1
22	全身麻酔器	オメダ エクセル210SE	1
23	全身麻酔器	GE横河メディカル エスティバ7900	6
24	全身麻酔器	GEヘルスケア アバンスケアステーションPro	4
25	生体情報モニタ	オムロンコーリンソーラー8000I	12
26	セントラルモニタ	オムロンMP100D	1

27	心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス VIG2 他	2
28	手術用無菌水手洗装置	MRE-SR-3型, 2型	1
29	手術室无影灯(4脳外科用)	山田医療照明 U6160	1
30	手術室无影灯(5心外用)	山田医療照明 No11-4	1
31	手術顕微鏡装置	カールツアイス	1
32	自動洗浄除染乾燥装置	エムエス WD-LS-76CS	1
33	自己血回収システム	セルセーバー5 CS-2005	2
34	耳鼻科用ドリルシステム	ジンマー オステオドリルシステム 50 38-001	1
35	耳鼻咽喉科用手術顕微鏡	ライカ M500-N-MS-1	1
36	子宮鏡セット	オリンパスヒステロスコープ HYF-XP他	1
37	高周波ラジオ波メス	エルマン・ジャパン サージマックス	1
38	血管内超音波診断装置	ボストン・サイエンティフィック ILAB100	1
39	結石破碎装置	コントロールユニットCH-1260Nyon	1
40	経皮的循環補助システム	テルモ キャピオックスEBS	1
41	経食道トランスジューサー	オムニプレーン2 21367A	1
42	患者監視装置	日本コーリン BP-508	2
43	外科用X線テレビ装置	日立メディコ SIRIUS Floating/C	1
44	外科用X線テレビジョン装置	OEC-9600	1
45	フレキシブルビデオラパロスコピーセット	フジノン	1
46	マイダレックスモーターシステム	ムラナカ	1
47	マイクロ波手術器	OT-110M	1
48	バリーラブフォースGSUユニット	米国バリーラブ社	1
49	ハーモニックスカルペル	ジョンソン&ジョンソン GEN04	1
50	ナビゲーターGPSシステム	タイコヘルスケア 097010 他	1
51	ナビゲーションシステム	メトロニック TERON plus システム	1
52	ドリルシステム	日本メトロニック マイダレックス・ ハイスピードドリル・レジェンド・システム	1
53	鏡視下脊椎手術セット	メトロニック METRx システム	1
54	イリゲーション付バイポーラセット	J&J CMC-3	1
55	CT定位脳手術装置	駒井式	1

56	電気手術装置	バリール ForceTriad	6
57	超音波血流計	Medi-Stim社 トランジットタイム血流計VQ4122	1
58	耳鼻科用シェーバー/ドリルシステム	メトロ-ソファモアダネック C9800	1
59	喉頭観察鏡システム	オリンパス PortaView-LF	1
60	急速輸液加温システム	スミスメディカル レベル1システム/レベル1ホットライン	1
61	マイクロサージェリー手術台	瑞穂医科 最低位41cm以下	1
62	皮膚灌流圧測定器	カナカメディックス PAD3000	1
63	周術期患者情報システム	オムロンコーリン	1
64	外科用手術顕微鏡システム	ライカ他M525-MS3/MKC-507	1
65	電動マイクロドリル	ストライカーコアシステム	1
66	気道式ドリルシステム	エースクラップ他ハイランHSコンプリートスペック他	1
67	ラジオフリークエンシーシステム	スミスアンドニュー他ValcanEASSystem他	1
68	外科用X線TV装置	東芝メディカルシステムズ	1
69	処置用ビデオスコープ	オリンパス ENF-VT2	1
70	腎盂/上下尿路観察鏡セット	オリンパス URF-V他	1
71	整形外科用ドリルシステム	ストライカー コードレスドライバー3	1
72	電気メス	東機質 ベサリウスMCM	1
73	電気けいれん治療器	光電メディカル サイマトロン	1
74	電解質TUR+内尿道切開システム	オリンパス WA22367A 他	1
75	手術顕微鏡システム	ライカ OH4	1
76	脊椎内視鏡SPINAL ENDOSCOPESセット	カールストルツ spinal endoscopesセット	1
77	超音波吸引システム	オリンパス SONOSURG-G2	1
78	デュアルイメージングカラーモジュール	ライカ DIC500FL	1
79	開胸器(一般)	日本ストライカー システム7 胸骨鋸ハンドピース他	1
80	眼科用冷凍手術システム	キーラー・アンド・ワイナー クライオマチック M-4100	1
81	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン VIVIDi	1
82	バッテリーハンドピース	日本ストライカー システム7 シングルトリガーロータリーハンドピース	1
83	下肢静脈瘤レーザー治療用超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン LOGIQe Expert	1
84	眼底観察システム	カールツァイス Resight 他	1

85	下肢静脈瘤レーザー治療器	インテグラル ELVeSレーザー	1
86	移動型外科用X線撮影装置	GEヘルスケア・ジャパン OEC9900 Elite Standard-c 12Inch	1
87	手術用治療機器	オリンパス Surgical Tissue Management	1
88	白内障・硝子体手術装置 内視鏡システム	日本アルコン コンステレーションビジョン システムLXT	1
89	眼科手術器具	ジアテルミーユニット	1
90	軟性尿管ビデオスコープ	オリンパス URF-V 他	1
91	手術用无影灯STERIS LED 2灯式	アムコ S27-0724 他	1
92	電解質溶液下レゼクトセット	オリンパス OTV-S7ProH-HD-10 9e D 他	1
93	手術用ナビゲーションシステム	ブレインラボ KICKナビゲーションシス テム	1
94	電動手術台	マッケジャパン	1
95	汎用循環器X線診断装置	フィリップス Allura Xper FD20	1
96	心血管用X線診断装置	フィリップス ALLURA Xper FD10/10	1
97	大動脈内バルーンポンプ	エドワーズライフサイエンス CS-100	1
98	人工心肺装置 一式	スタッカート スタッカートS5	1
99	人工心肺操作記録支援システム	PC-CAPTAIN MTS910	1
100	人工心肺CDI500 一式	CV-500 他	2
101	麻酔時患者監視装置	日本光電BISモニターA-2000 他	7
102	混合血酸素飽和度監視システム	日本光電 INVOS4000 他	1
103	動脈圧心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス ビジレオモニター	1
104	超音波診断装置	GE横河メディカル VIVID I	1
105	人工呼吸器解析装置システム	大正医科 VT-PLUS	1
106	全自動血液ガス分析装置	ノバ・メディカル スタットプロファイルCCX1	1
107	経皮的循環補助システム	テルモ キャピオックスEBS他	1
108	Tec6 プラス 気化器	デスフルラン	1
109	TEC7 気化器	セボフルラン8%	4
110	オメダレギュレータ	MJ-1042	1
111	カート	ダイオニクス25用	1
112	クリーンタオルボックス	MS-2RS	4
113	コマンド2	2296-1 他	2

114	サンダービート式	TD-TB400/WB50402W 他	1
115	トラムラック	TR-400P	1
116	ストレッチャー	K726	2
117	ドップラー血流量計	710A	1
118	ネルコアオキシセンサープローブ	DS100A	10
119	バッテリーチャージャー	100V	4
120	パルスオキシメーター	N-600X	1
121	ヘモオキシメータ	OSM3	1
122	ヘモクロンデジタル電子温度点検チューブ	HR1003	1
123	ペースメーカー	EDP 20/E	1
124	ホットキャビ	EK-104	1
125	ポータブルモニター	NPB-4000	1
126	マグナス手術台システム		1
127	マルチフローポンプ	JMS	1
128	ミストクリーン	MCM01	1
129	冷温水層	メラ	3
130	レーザー手術器	YAGレーザー IH102	1
131	二又アウトレット	MS2-OS	1
132	除細動器	ライフパック12	1
133	保冷庫	MDF-137	1
134	保育器	アトム V-3600HL	1
135	光学視管12°	A22001A	1
136	光学視管70°	A22003A	1
137	全自動卓上型高圧蒸気滅菌器	SPA-220	1
138	内視鏡下鼻副鼻腔手術用カメラ		1
139	内視鏡用能動切除器具	MD0100	1
140	内視鏡用送水装置	ダイオニクスパワー	1
141	吸引器	RG-100	1
142	吸煙機システム	PPS604	1

143	小型吸引器	HAR-E-115-JP	1
144	心筋保護供給装置	MPS	1
145	患者加温装置	ウォームタッチ 501-5300A	5
146	手術台	マッケジャパン	3
147	手術台 移動型	マッケジャパン	6
148	手術台	ALPHAMAXX-式	1
149	整形外科用ドリルシステム		
150	止血器	ATS750	1
151	歯科用ユニット	OPU-7	1
152	治療用電気手術器	RF-60	2
153	牽引ベッド	D-76437	5
154	神経刺激装置	NIMレスポンス	1
155	移動型診療用照明	CS03	1
156	経皮的循環補助システム	キャピオックス 他	1
157	血液保冷库	MBR-107T 他	10
158	血液凝固計	ヘモクロン	1
159	製氷機	ホシザキ製氷機	1
160	超音波診断プローブ	GE	3
161	遠心ポンプ 付属品	手回しハンドル 他	1
162	酸素流量計	P-311MS	1
163	関節鏡視下術器具	LC9800	1
164	関節鏡		1
165	電動デルマトーム	00-8821-006-00	1
166	電動マイクロドリルシステム		1
167	電動式生体用洗浄機	GA530	1
168	電動式骨手術機器一式	ダイオニクスパワー他	1
169	電気手術器	VALCAN	1
170	電解質溶液下レゼクトセット	OTV-S7ProH-HD-I08	1
171	高解像度モニタ	OEV191H	1

172	CEDVモニタ	VGSV	1
173	先端湾曲ビデオスコープ	LTE-S190-5	1
174	FCRシステム	富士コンピューテッドラジオグラフィ	1
175	FFPバック解凍器	FP-40	1
176	IC HAND MAGNET	HM-182	1
177	O2エアミキサー	LP-D	2
178	PAL-1システム	P-1	1
179	da Vinci Si	インテュイティブサージカル	1
180	エアシールインテリジェント	センチュリー AS-IFS1	1
181	耳鼻科手術用ナビゲーションシステム	日本メドトロニック 9733560	1
182	全身麻酔器	GEヘルスケアジャパン アバンスCS2Pro	1
183	婦人科手術用HDカメラシステム	カールストルツ	1
184	ヘッドレストシステム	ユフ精機 LUNA スタンダードリトラクタシステムセット	1
185	腹腔・胸腔鏡用TVシステム	オリンパス OTV-S190	1
186	Q-SW ルビーレーザー	エムエムアンドニーク MODEL IB101	1
187	パーサパルスセレクト30w	ポストン・サイエンティフィックジャパン	1
188	無影灯	アコム STERIS vLED	1
189	モバイルCアームシステム	PHILIPS BV Vectra	1
190	無影灯	アコム STERIS LED	1
191	手術麻酔記録支援システムハードウェア	フクダコーリン CIS-OR	1
192	腹腔・胸腔鏡用TVシステム関連	オリンパス VISERA ELITEシステム	1

別紙 3-12 透析室

透析室

	機器名称	規格	数量
1	透析用監視装置	日機装 DCS-73	1
2	HDF監視装置	日機装 DCG-03	1
3	多用途透析監視装置	日機装 DCG-03	1
4	個人用透析装置	日機装 DBB-27	1
5	透析用監視装置	日機装 DCS-73	1
6	多人数用透析液供給装置	日機装 DAB-10E	1
7	個人用HDF装置	日機装 DBG-02, NRX-20PS付	1
8	逆浸透性精製水製造装置	東レ・メディカル TW-300HI	1
9	個人用逆浸透精製システム	ダイセン VCR-20P	1

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

1 機器の共同利用(平成28年度実績)					
CT:144件	MRI:133件	MRI+MRA:9件	骨塩:10件	骨シンチ:14件	内視鏡:67件
心エコー:21件	腹部エコー:32件	X-P:1件	栄養相談:3件		
医療機関延べ数	434施設				
施設開設者と関係のない医療機関数	434施設				
2 病床の共同利用	0件				
3 図書室利用延べ人数	0人				
4 研究室利用延べ人数	0人				

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

1 共同利用の施設	別紙4-1-1~3
講堂、会議室、図書室、研究室、連携登録医室、駐車場	
2 共同利用の装置・機器	別紙4-2-1~5
コンピューター断層撮影装置(CT)、磁気共鳴診断装置(MR)、超音波診断装置、SPECT装置(ガンマカメラ)、内視鏡検査装置、栄養相談、単純エックス線撮影装置	
3 共同利用の病床 6床	別紙4-3-1~3
11階 南病棟 1119号(4床のうち1床) 北病棟 1167号(4床のうち1床)	
13階 南病棟 1301号(4床のうち1床) 北病棟 1366号(4床のうち1床)	
14階 南病棟 1401号(4床のうち1床) 北病棟 1463号(4床のうち1床)	

(注) 当該病院の建物の全体若しくは一部、設備、機器又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 **有**・無
 イ 利用医師等登録制度の担当者氏名：藤岡 亮太
 職種：事務職員

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

(別紙4-4)

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙4-5のとおり	341 医院			無

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	6床
--------------	----

平成28年度 医療機器共同利用件数

	CT	MRI	MRI+MRA	骨塩	骨シンチ	内視鏡	心エコー	腹部エコー	X-P	栄養相談	合計
4月	19	15	2	1	2	5	2	4		0	50
5月	17	12	0	2	1	6	2	4		1	45
6月	14	12	0	1	2	6	2	2		0	39
7月	13	6	2	1	1	5	3	3		0	34
8月	18	8	1	1	1	5	2	4		0	40
9月	9	12	1	1	5	2	1	1		0	32
10月	11	11	0	3	1	12	3	0		0	41
11月	4	10	0	0	0	7	0	3		0	24
12月	8	10	2	0	1	3	2	2		0	28
1月	8	12	0	0	0	4	2	0		0	26
2月	13	14	0	0	0	3	1	6		0	37
3月	10	11	1	0	0	9	1	3	1	2	38
合計	144	133	9	10	14	67	21	32	1	3	434

別紙4-4 共同利用に関する規定

以下の3本の規定を整備している。

別添1 川崎市立川崎病院施設等共同利用要綱

別添2 川崎市立川崎病院図書室院外利用者利用規定

別添3 川崎市立川崎病院共同利用病床運営要綱

別添 1

川崎市立川崎病院施設等共同利用要綱

(目的)

第1条 この要綱は、川崎市立川崎病院（以下「病院」という。）の建物、設備、器械又は器具（以下「施設等」という。）を病院以外の医療従事者等が診療、研究、研修等のため共同利用し、もって地域医療連携の推進等を図るため、必要な事項を定めることを目的とする。

(共同利用に供する施設等)

第2条 共同利用に供する施設等は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 会議室、講堂、図書室、研究室、連携登録医室及び駐車場
- (2) 栄養相談室
- (3) 単純エックス線撮影装置、コンピューター断層撮影装置、磁気共鳴診断装置、超音波診断装置、内視鏡検査装置、SPECT装置（ガンマカメラ）
- (4) 病床6床
- (5) 前4号に掲げるもののほか、病院長が必要と認めた施設

2 前項第1号に規定する研究室及び連携登録医室の利用については、連携登録医による利用を優先する。

(医療従事者等の範囲)

第3条 施設等を利用できる者の範囲は、病院に勤務しない医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他医療従事者等で、病院長がその利用を適当と認めた者とする。

(共同利用の申し込み)

第4条 施設等を利用しようとするときは、原則として、事前に病院の地域医療部地域医療連携担当に申し出て、病院長の承認を得るものとする。この場合において第2条第2号に掲げる施設等の利用にあたっては、各所属長の確認を得るものとする。

(庶務)

第5条 施設等の共同利用に関する庶務は、地域医療部地域医療連携担当が処理する。

(その他)

第6条 施設等の共同利用について、他に定めのある施設等については、その定めによるものとする。

2 その他、共同利用について必要な事項は、地域医療支援病院検討委員会に諮るものとする。

附 則

この要綱は、平成27年11月 日から施行する。

別添 2

川崎市立川崎病院図書室院外利用者利用規定

(趣旨)

第1条 川崎市立川崎病院図書室(以下図書室という。)は、地域医療機関との病診連携の円滑な推進を図る一助とするために、図書室の蔵書資料等の利用を提供する。このことにより地域医療に貢献することを目的とする。

(利用対象者)

第2条 図書室を利用することができる院外利用者は、次に掲げる者とする。

- (1) 院外の川崎市職員
- (2) 当病院の連携登録医
- (3) 川崎市医師会、川崎市歯科医師会、川崎市薬剤師会、川崎市看護協会、川崎市病院協会等に所属する地域の医療機関の登録医師及び医療従事者(前号に掲げる者を除く。)
- (4) 病院長が許可した者

(利用方法)

第3条 図書室を利用しようとする者(以下「利用者」という。)は、病院・医院・診療所名、住所、利用者氏名、電話番号、FAX番号、メールアドレス等を図書室に登録するものとする。

- 2 利用者は、来院前に図書室に利用申し込みをするものとする。
- 3 利用者は、図書室の利用に際して、「院外利用者図書室利用書」に必要事項を記入するものとする。
- 4 前3項及び第7条の規定にかかわらず、連携登録医が図書室を利用しようとする場合は、地域医療連携室を通じて利用の申込みを行うものとし、利用者登録等の手続を省略するものとする。

(利用時間等)

第4条 図書室の利用時間及び休室日は、次のとおりとする。

(1) 利用時間

午前10時から午後5時までとする。ただし、連携登録医にあつては、地域医療連携室と調整のうえ、必要に応じて時間外の利用を認めるものとする。

(2) 休室日

土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日並びに病院長が特に必要と認めた日。

(閲覧、貸出等)

第5条 図書室内の単行書、雑誌等は自由に閲覧できるものとする。ただし、院外貸出は行わないものとする。

(複写利用及び他機関への文献複写依頼)

第6条 図書室が所蔵している単行書、雑誌の複写利用を可能とする。この場合において複写料金実費として1枚あたり8円を徴収する。なお、同一文献からの大量複写については、著作権保護の観点から制限するものとする。

2 図書室に所蔵がない文献は、他機関へ文献複写を依頼することができる。ただし、書誌事項が明記されている文献のみ申し込みを受け付けるものとする。この場合において、複写利用に要した経費（複写料金、送料、振り込み料、手数料）は実費とする。

（検索データベースの利用）

第7条 医学中央雑誌Web版、up To Date等検索データベースを利用しようとするときは、図書室に事前に申し込みをするものとする。

平成16年6月14日

平成22年12月17日 改定

平成27年11月1日 改定

別添 3

川崎市立川崎病院共同利用病床運営要綱

(目的)

第1条 この要綱は、川崎市立川崎病院（以下「病院」という。）の病床を、地域医療機関からの共同利用の申し入れにより、適切かつ速やかに利用できるように必要な事項を定めることを目的とする。

(共同利用の内容)

第2条 病床の共同利用に関する要件は、原則として次に掲げるとおりとする。

- (1) 病院の連携登録医からの依頼に基づくものであること。
- (2) 急性期医療を必要とする患者であって、病院の診療科での診療が可能な患者であること。
- (3) 連携登録医と病院の医師が協力して診療にあたるものであること。
- (4) 共同利用の時間は、平日の午前8時30分から午後5時までとする。

(共同利用病床)

第3条 共同利用に供する病床は、次に掲げる6床とする。

- (1) 11階南病棟1119号室（4床のうち1床）
- (2) 11階北病棟1167号室（4床のうち1床）
- (3) 13階南病棟1301号室（4床のうち1床）
- (4) 13階北病棟1366号室（4床のうち1床）
- (5) 14階南病棟1401号室（4床のうち1床）
- (6) 14階北病棟1463号室（4床のうち1床）

(共同利用の申込手続き等)

第4条 病床の共同利用を行う際の手続は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 連携登録医は、共同利用病床利用申込書及び診療情報提供書並びにその他必要と認められる書類等を病院の地域医療部に提出するものとする。
- (2) 地域医療部は、前号の申込書等の提出を受けたときは、速やかに診療科と入院日程等の調整を行い、その結果を連携登録医に連絡するものとする。
- (3) 前号の調整後、病院の医師は、入院申し込みに係わる電子カルテ入力を行うものとする。

(その他)

第5条 その他共同利用病床について必要な事項は、地域医療部が関係部署と協議のうえ、地域医療支援病院検討委員会に諮るものとする。

この要綱は、平成27年12月1日から施行する。

年 月 日

共同利用病床利用申込書

(あて先)川崎市立川崎病院長

連携登録医 医療機関名

氏名

電話番号

次の患者については、私と川崎市立川崎病院の医師が協力して診療(共同診療)にあたりたいので、川崎市立川崎病院共同利用病床運営要綱第4条第1項の規定に基づき、共同利用病床の利用を申し込みます。

フリガナ		男
患者氏名		女
生年月日	年 月 日	歳
住所	〒	
希望診療科		
共同診療の目的・理由等		

- ※ 共同利用病床の利用を希望される場合は、川崎病院の連携登録医に登録してください。
- ※ 共同利用病床の利用には、別途費用(開放型病院共同指導料(I)等)が必要になりますので、事前に、患者宛説明をお願いします(「承諾書」等を徴し、貴院にて保管してください)。
- ※ この申込書は、診療情報提供書と併せ川崎病院地域医療部宛提出してください。

(承諾書の例)

共同利用病床利用承諾書

(あて先) 連携登録医

医療機関の名称

氏名

私が川崎市立川崎病院に入院するにあたり、同病院の共同利用病床を利用することを承諾します。

年 月 日

本人署名 (自著)

生年月日 年 月 日

家族 (代諾者) 署名

医療機関名	氏名	住所	主たる診療科名	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
鈴木医院	鈴木 真	川崎市川崎区田町1-6-15	内科・小児・放射線	無
きりやま眼科	桐山 通隆	川崎市川崎区駅前本町5-2大星川崎ビル7F	眼科	無
川崎駅前クリニック	古川 智洋	川崎市川崎区駅前本町12-1川崎駅前タワーリパーク6F	内科	無
上里整形外科	上里 元	川崎市川崎区渡田向町23-5	整形・リハ	無
平安医院	平安 良博	川崎市川崎区藤崎4-19-15	外・内・消内	無
松田内科医院	松田 文男	川崎市川崎区堀之内10-24	内科・消内・循内	無
菅野皮膚科	菅野 聖逸	川崎市川崎区京町1-9-11大森ビル2F	皮膚科	無
相澤整形外科	相澤 策郎	川崎市川崎区昭和1-2-12	整形・リハ	無
青山クリニック	青山 眞一	川崎市川崎区伊勢町25-3	内科・小児科	無
こうかんクリニック	朝倉 均	川崎市川崎区鋼管通1-2-3	内科・消内	無
阿部医院	阿部 能明	川崎市川崎区貝塚1-9-10	内・外・呼内・アレ・循内	無
門前外科医院	阿保 雅也	川崎市川崎区東門前1-14-4	外科・消内・肛・泌・皮	無
東扇島診療所	新井 理之	川崎市川崎区東扇島78福利厚生センタービル2F	内・呼内・アレ	無
飯塚医院	飯塚 和弘	川崎市川崎区京町2-14-2	内・呼内	無
池上クリニック	池上 秀明	川崎市川崎区浅田3-7-15	精神科	無
みずほ眼科	池田 清美	川崎市川崎区小田4-39-5	眼科	無
いしいクリニック乳腺外科	石井 誠一郎	川崎市川崎区砂子2-6-2三恵ビル10F B号室	外科・乳腺	無
いしい医院	石井 貴士	川崎市川崎区桜本2-4-9	内・外・消内	無
伊藤内科クリニック	伊藤 周治	川崎市川崎区砂子1-1-18野崎ビル2F	内・呼内・アレ	無
稲葉医院	稲葉 周作	川崎市川崎区砂子1-5-22	消内・外・整形・皮・泌	無
かわさき診療所	今井 聡	川崎市川崎区砂子2-6-2三恵ビル10F	精神・心内	無
はらだ眼科	井廻 万里	川崎市川崎区渡田向町22-5	眼科	無
入江医院	入江 宏	川崎市川崎区砂子2-6-2三恵ビル3F	内科・婦人科	無
うすい整形外科医院	薄井 利郎	川崎市川崎区砂子2-2-10第2園ビル	整形・リハ	無
川崎駅前眼科プラムアイクリニック	梅田 記子	川崎市川崎区日進町1 日航ホテルビル3F	眼科	無
大江医院	大江 英一	川崎市川崎区川中島1-13-2	産婦人科	無
大塚眼科クリニック	大塚 宏之	川崎市川崎区駅前本町12-1川崎駅前タワーリパーク7F	眼科	無
小口眼科	小口 和久	川崎市川崎区大師駅前1-5-5ワイケイズビル201	眼科	無
おさふね耳鼻咽喉科	長松 宏隆	川崎市川崎区川中島1-12-11	耳鼻咽喉科	無
宮本町中央診療所	尾上 泰彦	川崎市川崎区宮本町4-1	泌尿器・性・婦人・皮	無
元木町眼科・内科	方波見 隆史	川崎市川崎区渡田新町2-1-1	眼科・内科	無
にじのまち病院	加藤 延	川崎市川崎区藤崎1-5-3	内・外	無
かめだこどもクリニック	亀田 佳哉	川崎市川崎区池田2-4-5	小児科	無
ナビタスクリニック川崎	河野 一樹	川崎市川崎区駅前本町26-1アトレ川崎8F	小児	無
菊地外科内科クリニック	菊地 弘毅	川崎市川崎区小田6-5-1	脳外・小・外・整・内	無
中島中央病院	木村 美根雄	川崎市川崎区中島3-9-9	循内・呼内・透折・内	無
富士見整形外科医院	金 賢	川崎市川崎区中島1-1-1	整形・理学療法	無

熊谷医院	倉田 典子	川崎市川崎区小田5-28-15	内・小児	無
京町診療所	倉田 眞行	川崎市川崎区京町2-15-6神和ビル	内・呼内・小児・アレ	無
京町クリニック	栗須 修	川崎市川崎区京町1-9-11	内・循内	無
黒坂医院	黒坂 きょう子	川崎市川崎区京町2-8-17	循内・内・呼内・消内・心内	無
協同ふじさきクリニック	桑島 政臣	川崎市川崎区藤崎4-21-2	内科・循内	無
高良医院	高良 憲光	川崎市川崎区大島3-15-17	内科・小児科	無
後藤医院	後藤 雅彦	川崎市川崎区昭和2-16-16	内科・整形・リハ	無
さくら中央クリニック	櫻井 与志彦	川崎市川崎区大師本町9-11	内科・呼内・循内・皮・ア・小児	無
ささきクリニック	佐々木 博一	川崎市川崎区池田1-6-3	内科・循内・消内	無
佐藤クリニック	佐藤 龍男	川崎市川崎区池田2-4-17	性病・皮・アレ	無
川崎クリニック	尖戸 寛治	川崎市川崎区日進町7-1川崎日進町ビルディング6・7・8F	眼科	無
柴田医院	清水 泉	川崎市川崎区浅田3-10-12	内科・消内	無
大師診療所	杉山 靖	川崎市川崎区大師町6-8	内科・消内	無
川崎すずき内科クリニック	鈴木 竜司	川崎市川崎区貝塚1-15-4イスビル3F	糖尿・内科	無
デルマクリニック寺前	巢山 隆	川崎市川崎区大師町13-9	皮膚科	無
川崎七福診療所	大黒 学	川崎市川崎区小田1-1-2アルティス京町ビル4F	内・消内・呼内・循内	無
日本冶金工業株式会社 川崎製錬所診療所	平 貫秀	川崎市川崎区小島町4-2	内科	無
高野眼科医院	高野 繁	川崎市川崎区砂子2-6-2三恵ビル3F	眼科	無
川崎メンタルクリニック	高橋 憲太郎	川崎市川崎区小川町2-3川崎アオキビル第10-4F	精神科・心内	無
高橋眼科医院	高橋 信久	川崎市川崎区昭和1-2-9	眼科	無
高橋医院	高橋 久子	川崎市川崎区昭和1-2-9	内科	無
竹内クリニック	竹内 明男	川崎市川崎区京町2-24-4セゾール川	内科・小児科	無
昭和医院	田添 克衛	川崎市川崎区出来野7-20	内科・小児科	無
田辺医院	田邊 裕明	川崎市川崎区大島上町1-10	内科・放射線	無
タネサダナオクリニック	太根 節直	川崎市川崎区大島1-20-6	眼科	無
川崎健診クリニック	塚田 一義	川崎市川崎区駅前本町10-5クリエ川崎7・8F		無
辻眼科クリニック	辻 一夫	川崎市川崎区渡田向町29-11アンソルティ渡田向町1,2F	眼科	無
手島耳鼻咽喉科医院	手島 温子	川崎市川崎区大島2-14-9	耳鼻咽喉科	無
港町つばさクリニック	東根 達也	川崎市川崎区港町5-2-104	内科	無
富士電機株式会社 川崎工場診療所	富澤 亜樹	川崎市川崎区田辺新田1-1	内科	無
港町こどもクリニック	中澤 進一	川崎市川崎区港町5-2-103	小児	無
川崎沼田クリニック	沼田 真一	川崎市川崎区砂子2-11-20加瀬ビル133 402号室	精神科	無
野末整形外科歯科内科	野末 洋	川崎市川崎区小田5-1-3	整形・リハ・内・消内	無
野田眼科内科小児科医院	野田 俊子	川崎市川崎区藤崎1-1-3	眼科・内科・小児	無
はた内科胃腸科クリニック	畑 英司	川崎市川崎区渡田向町15-2	内科・消内	無
畑医院	畑 章一	川崎市川崎区宮前町5-1	内科・糖尿・小児	無
花田内科胃腸科医院	花田 徹野	川崎市川崎区大島4-16-1	内・消内	無
月岡医院	春名 裕恵	川崎市川崎区小川町15-7	耳鼻咽喉科	無
真木クリニック	真木 健	川崎市川崎区砂子2-11-20大幸ビル4F	内科・小児・婦人・皮	無
馬嶋病院	馬嶋 正剛	川崎市川崎区日進町24-15	婦人・性病	無
増田耳鼻咽喉科	増田 康一	川崎市川崎区京町1-9-11大森ビル2F	耳鼻咽喉科	無

三島クリニック	三島 雅辰	川崎市川崎区駅前本町5-2大星川崎ビル6F	内科・消内・皮・形成	無
川崎大師みずの耳鼻咽喉科	水野 浩美	川崎市川崎区大師駅前1-6-17パークホームズ川崎大師東参道102	耳鼻咽喉科	無
内科小児科宮島医院	宮島 真之	川崎市川崎区池田2-7-4	内科・小児科・神内	無
村上外科医院	村上 俊一	川崎市川崎区大島1-5-14	内・消内・小児・外・整形・皮	無
水江診療所	村上 太三	川崎市川崎区水江町6-21	整形	無
村山整形外科	村山 均	川崎市川崎区大師駅前1-6-17パークホームズ川崎大師東参道2F	整形・リハ	無
望月皮膚科医院	望月 明子	川崎市川崎区小田1-9-23	皮膚科	無
望月耳鼻咽喉科医院	望月 元博	川崎市川崎区小田1-9-23	耳鼻咽喉科	無
森田クリニック	森田 裕人	川崎市川崎区大島5-10-5	内・外・呼内・アレ	無
森田皮膚科クリニック	森田 美佳子	川崎市川崎区大島5-10-5	皮・アレ	無
森村眼科クリニック	森村 佳弘	川崎市川崎区駅前本町26-1川崎アトレ8F	眼科	無
安岡クリニック	安岡 昇二	川崎市川崎区砂子2-6-2三恵ビル7F	泌尿器・性・皮・放射線・形成	無
安士外科医院	安士 達夫	川崎市川崎区浜町1-11-5	内科・消内・外・肛	無
柳田診療所	柳田 明	川崎市川崎区中島1-13-3	内・神経	無
山下整形外科	山下 方也	川崎市川崎区追分町5-2 青木菜山堂ビル2F	整形・リハ	無
由井クリニック	由井 史樹	川崎市川崎区貝塚2-4-19	内・循内・皮	無
第一クリニック	横峯 憲吾	川崎市川崎区渡田新町2-3-5	脳神経外科・整形	無
ヨシムラ耳鼻咽喉科医院	吉邨 博孝	川崎市川崎区浜町1-7-6	耳鼻咽喉科・アレ	無
和田内科医院	和田 齊	川崎市川崎区東門前3-1-6	内科・小児科	無
渡辺外科内科医院	渡辺 能斌	川崎市川崎区大島2-17-16	整形・外・内・皮・消内	無
悠翔会在宅クリニック川崎	宮原 光興	川崎市川崎区浜町4-6-19	総合診療科・内・外・精神・皮	無
かねこ整形外科	金児 英敏	川崎市川崎区小田4-1-2	整形	無
いしまる内科クリニック	石丸 尚	川崎市川崎区観音2-10-6 第3忠	内・循内	無
川崎市保健所川崎支所	雨宮 文明	川崎市川崎区東田町8番地	内科・小児科	無
川崎本町眼科クリニック	高木 美善	川崎市川崎区駅前本町26-2-3004	眼科	無
ペイクリニック	中野 寿美	川崎市川崎区本町1-8-2トラストビル	内・精神・整形	無
ナカオカクリニック	中岡 康	川崎市幸区下平間38	内・呼内・循内・消内・外	無
森田医院	森田 由里	川崎市幸区南幸町3-14	内・消内・リウ・小	無
川越産婦人科医院	川越 忠夫	川崎市幸区中幸町3-11	産婦	無
植村内科医院	植村 信之	川崎市幸区戸手本町1-44-5	内・循内・小・放	無
パークシティクリニック	大森 尚文	川崎市幸区小倉1-1 パークシティ新川崎クリニック棟217	内・消内・小・外・肛・放	無
たつのこどもクリニック	田角 喜美雄	川崎市幸区下平間359 レオナV	小・ア	無
青木整形外科	青木 晴彦	川崎市幸区幸町4-18	整	無
新川崎眼科	秋山 和英	川崎市幸区新川崎5-2 シンカモール3F	眼	無
浅井眼科医院	浅井 美子	川崎市幸区南加瀬3-3-27	眼	無
さいわい鹿島田クリニック	朝倉 裕士	川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎	内・腎	無
生駒クリニック	生駒 光博	川崎市幸区南加瀬4-27-6	肛・消内・皮・外・整・リハ	無
石永医院	石永 隆成	川崎市幸区下平間130	内・循内	無
川崎南部在宅診療所	岩田 道圭	川崎市幸区南加瀬2-8-15 1F-B		無
漆原医院	漆原 國夫	川崎市幸区南幸町3-16	産婦	無
大野クリニック	大野 直規	川崎市幸区堀川町580 ソリッドスクエア西館2F	精・心内・内	無

大山耳鼻咽喉科診療所	大山 義雄	川崎市幸区南幸町2-25	耳・ア	無
おさないクリニック	長内 佳代子	川崎市幸区南幸町2-80 KS紅屋ビル4F	泌・内	無
おんだクリニック	恩田 威文	川崎市幸区南幸町2-80	小・内・ア	無
柁原医院	柁原 啓一	川崎市幸区小倉3-23-4	内・循内・消内	無
小倉かとう内科	加藤 義郎	川崎市幸区小倉5-19-23 クロスガーデン川崎2F	内・消内・糖	無
鎌田医院	鎌田 健司	川崎市幸区南加瀬4-30-2	循内・内	無
木村整形外科	木村 記行	川崎市幸区小倉1-3-14	整・リハ	無
くちかた整形外科	朽方 秀人	川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎3F	整・リウ・リハ	無
黒瀬クリニック	黒瀬 嘉幸	川崎市幸区神明町2-1-1	内・呼内・消内	無
小泉クリニック	小泉 実意子	川崎市幸区神明町2-9-5	精・麻・ペ	無
川崎リウマチ・内科クリニック	小井戸 則彦	川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎222区画	内・ア・リウ	無
眼科小鹿倉医院	小鹿倉 庸子	川崎市幸区下平間144	眼	無
小林クリニック	小林 睦生	川崎市幸区南幸町2-80	皮・泌	無
小林内科医院	小林 敏則	川崎市幸区紺屋町39	内	無
新川崎こびきウィメンズクリニック	木挽 貢慈	川崎市幸区鹿島田1-8-33 はとりビル2F	婦	無
こんどうレディース診療所	近藤 善二郎	川崎市幸区大宮町2-8 イクス川崎ザ・タワー1-A	婦・内・産	無
かい小児科・内科・耳鼻咽喉科医院	坂本 園子	川崎市幸区南加瀬3-25-1	耳・内・小	無
佐々木内科クリニック	佐々木 明德	川崎市幸区小向町3-21	内・小	無
三豊みそらトラックバス株式会社診療所	佐々木 直子	川崎市中原区大倉町10	内	無
三條医院	三條 明良	川崎市幸区幸町2-697	内・消内・小	無
新川崎耳鼻咽喉科医院	庄司 稔	川崎市幸区鹿島田2-24-11	耳	無
川崎幸クリニック	杉山 孝博	川崎市幸区南幸町1-27-1	内	無
周藤眼科クリニック	周藤 憲治	川崎市幸区河原町1-15-103	眼	無
千梨内科クリニック	関 江里子	川崎市幸区下平間359 レオナV201	内・循内	無
関クリニック	関 文雄	川崎市幸区幸町3-7	内・呼内・消内・外	無
関口医院	関口 博仁	川崎市幸区古市場1-21	内・皮・小・外	無
高取内科医院	高取 正雄	川崎市幸区矢上13-6	内・消内・小	無
高野アイクリニック	高野 和子	川崎市幸区古市場1-47 ケイワンビル1F	眼	無
高橋クリニック	高橋 薫	川崎市幸区北加瀬2-7-20	内・小・皮	無
メディ在宅クリニック	高橋 保正	川崎市幸区矢上2-7		無
たくま幸クリニック	詫摩 哲郎	川崎市幸区小倉3-28-12 シヤリオ佐野1F	内・糖・小・鏡内	無
たけお眼科	竹尾 悟	川崎市幸区鹿島田1-1-3 新川崎スクエア3F	眼	無
いきいきクリニック	武知 由佳子	川崎市幸区南幸町2-34-2 川崎クリスチャンセンター1F	呼内・内	無
田中小児科医院	田中 忠一	川崎市幸区塚越2-217	小	無
パークシティ眼科	田中 真紀子	川崎市幸区小倉1-1 パークシティ新川崎クリニック棟220	眼	無
田村外科病院	田村 哲郎	川崎市幸区戸手1-9-13	外・整・リハ	無
株式会社 東京小児工務 小倉地区医療センター	塚本 達郎	川崎市幸区小向東芝町1	整	無
ステラクリニック	塚本 利雄	川崎市幸区鹿島田1-8-33 はとりビル1F	精・心内	無
川崎セツルメント診療所	遠井 敬大	川崎市幸区古市場2-67	内	無
中林眼科医院	中林 るりか	川崎市幸区大宮町15-4 松下ビル	眼	無
中村クリニック泌尿器科	中村 薫	川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎227	泌	無

中村整形外科	中村 信之	川崎市幸区古市場1-21	整・リハ	無
川崎ハッピーロードメンタルクリニック	仁尾 洋子	川崎市幸区中幸町4-42 金子ビル3F	精・心内・内	無
南武医院	西脇 博一	川崎市幸区下平間205	内	無
夢見ヶ崎医院	仁藤 裕子	川崎市幸区南加瀬1-9-9	皮・泌・内	無
あいホームケアクリニック	塗木 裕也	川崎市幸区都町37-10	循内	無
かい小児科・内科・耳鼻咽喉科医院	野島 未穂	川崎市幸区南加瀬3-25-1	内・小	無
橋爪医院	橋爪 誠	川崎市幸区戸手2-3-12	内・循内・消内	無
はとりクリニック	羽鳥 裕	川崎市幸区鹿島田1-8-33 はとりビル3F	内・呼内・循内・消内	無
藤岡耳鼻咽喉科医院	藤岡 治	川崎市幸区下平間111	耳・気	無
藤田整形外科	藤田 健一	川崎市幸区南幸町2-21 ウィステリア西口1F	整・内・皮・ア・リハ・放・麻	無
ふるしょうクリニック	古荘 竜	川崎市幸区大宮町12-7 TMビルII 1F	精・心内	無
本田眼科医院	本田 宗治	川崎市幸区南加瀬2-5-8	眼	無
パークシティ皮膚科・泌尿器科	牧 三樹子	川崎市幸区小倉1-1 パークシティ新川崎クリニック211	皮・泌・ア	無
けいクリニック	正村 謙二	川崎市幸区南幸町3-104 中川ビル3F	精・心内	無
ましも内科循環器科	真下 好勝	川崎市幸区南幸町2-21 ウィステリア西口2F	内・循内・皮	無
川崎中央クリニック	松井 康信	川崎市幸区神明町2-68-7	脳外・内・神内・外・整	無
まつくら整形外科	松倉 陽一	川崎市幸区南幸町2-21-7	整・リハ	無
まつの内科クリニック	松野 久子	川崎市幸区新川崎5-2 シンカモール3F	内・糖	無
松葉医院	松葉 育郎	川崎市幸区塚越2-159	内・循内・消内	無
松本眼科医院	松本 匡彦	川崎市幸区大宮町20	眼	無
まつやまクリニック	松山 恭輔	川崎市幸区下平間341 レオナⅢ2F	泌・内・皮	無
松山整形外科	松山 武司	川崎市幸区下平間341 レオナⅢ1F	整・リハ・麻	無
ゆりこどもクリニック	御宿 百合子	川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎5F	小	無
みつや内科診療所	三迺 信之	川崎市幸区古川町120	内・循内	無
やぎ耳鼻咽喉科・アレルギークリニック	八木 剛史	川崎市幸区大宮町6-4 TMビル2F	耳・ア	無
矢野内科医院	矢野 春雄	川崎市幸区塚越4-314-2	内・糖・放	無
山田小児科医院	山田 尚士	川崎市幸区塚越1-121	小・内・消内	無
りえ皮膚科クリニック	山田 利恵	川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎5F	皮・ア	無
さいわい整形外科	山本 憲一	川崎市幸区戸手1-2-1 みゆきコーポラス1F	整・リハ	無
ゆいクリニック	由井 郁子	川崎市幸区下平間39-2F	小・内・皮	無
横山クリニック	横山 勲	川崎市幸区大宮町14-4 尊昌ビル4F	内・消内・外・皮	無
よしかわ耳鼻咽喉科	吉川 琢磨	川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎3F	耳	無
米田医院	米田 直人	川崎市幸区中幸町3-13	内・外	無
新川崎ひたち整形外科	月出 康平	川崎市幸区新川崎5-2 シンカモール3F	整	無
ミュージア川崎こどもクリ	三井 理恵	大宮町1310	小・小皮・皮・アレ	無
川崎市保健所幸支所	瀬戸 成子	戸手本町1-11-1	内小	無
かもち整形外科クリニッ	蒲地 宏昌	小倉5-19-23-201	整リハ	無
のなみクリニック	沼波 良太	川崎市中原区小杉町1-547-83	一般内科	無
はぐくみ母子クリニック	奥石 太郎	川崎市中原区下小田中3-33-5	産婦人科、小児科	無
長谷川診療所	長谷川 洋	川崎市中原区小杉町3-252朝日/リウオ武蔵小杉102	精神科・心療内科	無
さかい医院	堺 浩之	川崎市中原区今井南町9-34	内科・循環器科	無

新丸子皮膚科・アレルギー科クリニック	生富 公明	川崎市中原区新丸子町748	皮	無
おばな内科クリニック	小花 光夫	川崎市中原区上新城2-4-8	内科・糖尿病内科	無
山高クリニック	山高 浩一	川崎市中原区下小田中2-33-39	内・消内・外・リハ	無
宇藤内科医院	宇藤 浩	中原区苅宿24-37	内・小	無
やまと診療所武蔵小杉	程塚 明	中原区下沼部1760 カインド玉川101	内科・外科	無
安部歯科医院	安部 忠	川崎市川崎区浅田2-14-18	歯科一般	無
阿保歯科医院	阿保 達也	川崎市川崎区東門前1-14-4	歯科・小児歯科	無
安藤歯科医院	安藤 龍一	川崎市川崎区渡田2-1-1	一般歯科・小児歯科	無
いしかわ矯正歯科	石川 剛	川崎市川崎区東田町5-3 ホンマ	矯正歯科	無
かずみ歯科医院	石丸 美和子	川崎市川崎区京町2-7-10 シ	歯科	無
磯野歯科医院	磯野 久志	川崎市川崎区砂子1-4-5	一般歯科	無
井田歯科医院	井田 満夫	川崎市川崎区砂子1-7-3	歯科・小児歯科	無
市川歯科医院	市川 智香子	川崎市川崎区大島5-12-5	一般歯科・小児歯科・矯正歯科	無
イナキ歯科医院	稲木 建郎	川崎市川崎区本町1-3-5 イナ	一般歯科・小児歯科	無
伊野歯科医院	伊野 千恵子	川崎市川崎区東田町4-5-2F	歯科	無
いまい歯科	今井 雅文	川崎市川崎区台町25-4	歯科・小児歯科	無
小友歯科医院	岩崎 光男	川崎市川崎区渡田3-19-12	歯科	無
上原歯科医院	上原 学	川崎市川崎区大島5-13-20	一般歯科	無
新川橋クリニック	内海 晃	川崎市川崎区新川通2-1	歯科	無
大塚歯科クリニック	大塚 隆	川崎市川崎区宮本町6-3 小菅	歯科	無
及川歯科医院	及川 しおり	川崎市川崎区昭和2-9-20	歯科・小児歯科・歯科口腔外科	無
勝又歯科医院	勝又 清伊	川崎市川崎区渡田2-12-7	歯科	無
金井歯科医院	金井 久弥	川崎市川崎区砂子1-2-12	歯科	無
富士歯科医院	金子 富士雄	川崎市川崎区小田2-5-13	歯科一般	無
神谷デンタルクリニック	神谷 洋子	川崎市川崎区追分6-11	歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
北山歯科クリニック	北山 恵一郎	川崎市川崎区大島上町1-6 ウ	歯科・小児歯科	無
木村歯科クリニック	木村 幸久	川崎市川崎区藤崎3-9-2	一般歯科	無
久保歯科医院	久保 一路	川崎市川崎区小田2-17-30	歯科	無
久米歯科医院	久米 竹子	川崎市川崎区鋼管通2-10-13	歯科一般	無
くわばら歯科医院	桑原 一博	川崎市川崎区渡田新町3-14-3	一般歯科	無
小泉歯科医院	小泉 敏和	川崎市川崎区観音1-2-9	一般歯科・小児歯科・矯正歯科	無
古賀歯科医院	古賀 克隆	川崎市川崎区中島1-12-3	歯科	無
小林歯科医院	小林 隆志	川崎市川崎区大島上町19-8	一般歯科	無
宮原歯科医院	小宮山孝文	川崎市川崎区旭町2-7-9	歯科	無
こみやま歯科	小宮山義和	川崎市川崎区砂子2-2-2	歯科	無
齋藤歯科医院	齋藤 浩之	川崎市川崎区昭和1-3-7	歯科	無
佐々木歯科医院	佐々木 孝幸	川崎市川崎区桜本2-17-21	歯科	無
佐藤歯科	佐藤 太郎	川崎市川崎区駅前本町1-2 鈴	歯科	無
志田歯科医院	志田 哲也	川崎市川崎区大師駅前1-16-7	歯科	無
かんのん歯科医院	鈴木 研太郎	川崎市川崎区観音2-9-3	歯科・小児歯科	無
関口歯科医院	関口 悦郎	川崎市川崎区東田町8 パレール	歯科	無

川崎スマート矯正歯科	瀬野 智	川崎市川崎区駅前本町26-4 ラウン	矯正歯科	無
高柴歯科	高柴 重幸	川崎市川崎区渡田1-1-2 リビエー	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
高松歯科医院	高松 純一	川崎市川崎区東門前2-1-11	一般歯科・小児歯科・口腔外科	無
武宮歯科医院	武宮 信寿	川崎市川崎区藤崎4-4-8	一般歯科・小児歯科	無
ハローデンタルクリニック	田中 格	川崎市川崎区小田栄2-2-1 イトヨーカドー川崎店2F	歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科	無
田中歯科クリニック	田中 修	川崎市川崎区砂子2-11-20 加瀬ビル133-3F	歯科	無
田中デンタルクリニック	田中 賢哲	川崎市川崎区堤根39-1	一般歯科	無
大目谷診療所歯科	谷 信男	川崎市川崎区川中島1-6-5	歯科	無
玉置歯科医院	玉置 広親	川崎市川崎区東門前2-5-3	一般歯科	無
田村歯科医院	田村 義也	川崎市川崎区東門前1-17-1クリエイトビル川崎大橋101	歯科・小児歯科・口腔外科	無
リパーク歯科	寺澤 孝興	川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク2F	歯科	無
徳丸歯科医院	徳丸 良雅	川崎市川崎区小田6-5-7	一般歯科・口腔外科・小児歯科	無
中川歯科医院	中川 貴志	川崎市川崎区渡田新町2-5-4	一般歯科・小児歯科	無
みなとまち歯科	中川 博	川崎市川崎区港町12-1イトヨーカドー川崎港町店2F	歯科	無
なかの歯科	中野 昌則	川崎市川崎区東田町11-1-103	歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
中村歯科医院	中村 元弘	川崎市川崎区新川通11-14 中村ビル1F	歯科	無
根津矯正歯科クリニック	根津 崇	川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワーリパーク6F	矯正歯科	無
ノグチ歯科医院	野口 孝人	川崎市川崎区下並木71	歯科	無
田島歯科クリニック	蛭間 隆弘	川崎市川崎区鋼管通2-11-1	歯科一般・小児歯科	無
ひるまデンタルクリニック	蛭間 信彦	川崎市川崎区南町18-18	歯科・小児歯科・口腔外科	無
ひやま歯科クリニック	檜山 雄彦	川崎市川崎区昭和2-9-7フォルゴレ川崎101	歯科・小児歯科・口腔外科	無
パール歯科医院	藤田 陽一	川崎市川崎区田町2-13-1	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
堀歯科医院	堀 兼茂	川崎市川崎区京町1-10-9	歯科一般・矯正歯科・審美歯科	無
セソール歯科医院	堀 祐兒	川崎市川崎区京町2-24-4-112	歯科	無
本間歯科医院	本間 秀文	川崎市川崎区大師駅前1-7-11	歯科	無
松本歯科医院	松本 純	川崎市川崎区元木2-7-1	歯科	無
宮田デンタル・オフィス	宮田 佛治	川崎市川崎区池田1-2-16-20	歯科	無
牟田歯科医院	牟田 成	川崎市川崎区駅前本町26-1 アトレ川崎8F	歯科一般・口腔外科・小児歯科	無
大久保歯科医院	武藤 悦子	川崎市川崎区南町3-3	歯科一般	無
望月歯科医院	望月 信孝	川崎市川崎区小田1-9-3	歯科	無
森田歯科医院	森田 望之	川崎市川崎区砂子1-1-1追川ビル2F	歯科一般	無
矢吹歯科	矢吹 義秀	川崎市川崎区大師駅前1-2-7	歯科	無
もとき歯科医院	山内 典明	川崎市川崎区元木1-2-7	歯科	無
横島歯科医院	横島 弘和	川崎市川崎区京町1-9-5	歯科	無
三愛歯科医院	頼近 和繁	川崎市川崎区東門前3-4-1	歯科口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
わたなべ歯科クリニック	渡邊 克則	川崎市川崎区小川町15-13 ランドコム川崎1F	一般歯科	無
わたなべ歯科医院	渡部 和彦	川崎市川崎区大師駅前1-6-7	歯科	無
小島新田ファミリー歯科	楠元 孝明	川崎市川崎区田町2-4-13	歯科・小児・口腔外科・矯正歯科	無
新町歯科医院	杉之内 俊郎	川崎市川崎区渡田新町1-12-4	一般歯科・小児歯科	無
久保木歯科医院	田中 京子	川崎市川崎区小田4-36-12	一般歯科・口腔外科・小児歯科・審美矯正	無
加藤歯科医院	池田 美智子	川崎市幸区小向町1-10	歯科・小児歯科	無

井田歯科クリニック	井田 晴夫	川崎市幸区南加瀬5-16-7	歯科	無
サンライズ歯科クリニック	海野 倫明	川崎市幸区大宮町1310ミューザ川崎区画番号226	歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
大塩歯科医院	大塩 美樹子	川崎市幸区古市場2-104	歯科・小児歯科	無
おおもち歯科医院	大持 充	川崎市幸区南加瀬2-33-15	一般歯科・小児歯科	無
落合歯科医院	落合 尉裕	川崎市幸区下平間204 倉田ビル2F	歯科	無
小俣歯科医院	小俣 洋仁	川崎市幸区小倉2-25-6	歯科・小児歯科・口腔外科	無
タカミ歯科	加藤 尊巳	川崎市幸区南加瀬3-7-32	一般歯科・小児歯科・矯正歯科	無
たから歯科クリニック	門脇 秀樹	川崎市幸区下平間205-2-1F	歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
愛仁歯科医院	鈴木 英哲	川崎市幸区中幸町4-7 ルミナスビル1F	歯科	無
熊沢歯科医院	熊澤 朝子	川崎市幸区塚越3-135-4	歯科一般・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
紺野歯科医院	紺野 義之	川崎市幸区下平間111-20 成川ビル2F	歯科	無
シオヤ歯科	塩谷 和則	川崎市幸区南幸町3-101 尻手幸ビル2F	歯科	無
プラス歯科クリニック	柴田 直幸	川崎市幸区南加瀬4-30-5 三浦ビル2F	歯科	無
清水歯科医院	清水 伸之	川崎市幸区小倉3-30-22	歯科・小児歯科・口腔外科	無
須貝歯科医院	須貝 昭弘	川崎市幸区南幸町2-8-101	歯科	無
岡部歯科医院	菅原 素子	川崎市幸区南加瀬4-18-22	一般歯科	無
竹内歯科医院	竹内 啓介	川崎市幸区神明町1-6-6	歯科	無
下平間歯科クリニック	長 優子	川崎市幸区下平間214-1-1-103	歯科・口腔外科・小児歯科	無
中島歯科医院	中島 由貴	川崎市幸区塚越4-333	一般歯科・小児歯科・歯科口腔外科	無
名取歯科	名取 俊一	川崎市幸区南幸町2-16-2ニッコーハイツ川崎202	一般歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科	無
伴場歯科医院	伴場 幸信	川崎市幸区小向西町4-145	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
ひげうち歯科医院	髭内 宏光	川崎市幸区北加瀬1-17-2	歯科・小児歯科・障害者歯科	無
日高歯科クリニック	日高 豊彦	川崎市幸区新塚越201ルリエ新川崎3F	歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
ますもと歯科医院	樹本 雄次	川崎市幸区南幸町2-80 KS紅屋ビル1F	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
かわさきノエル矯正歯科	松原 望	川崎市幸区大宮町5 太尾ビル4F	矯正歯科	無
松村歯科	松村 照代	川崎市幸区下平間223	歯科	無
宮坂歯科医院	宮坂 和弘	川崎市幸区鹿島田1-7-20	一般歯科・小児歯科	無
村田歯科医院	村田 淑子	川崎市幸区中幸町4-50 布施ビル2F	歯科一般・矯正歯科	無
塚越歯科医院	森 俊明	川崎市幸区塚越2-159	歯科	無
安原歯科医院	安原 洋	川崎市幸区北加瀬1-8-5-102	歯科	無
矢野歯科医院	矢野 雄一郎	川崎市幸区塚越4-333-93	歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
えんどう歯科医院	山下 晴美	川崎市幸区古市場1-29 ユーポーパレス2階	一般歯科	無
新川崎歯科医院	横井 和弘	川崎市幸区新川崎3-1 イニシア新川崎101	一般歯科・矯正歯科・小児歯科・歯科口腔外科	無
吉永歯科医院	吉永 寛	川崎市幸区中幸町1-27-4	一般歯科・小児歯科	無
川崎サン歯科医院	保志 達信	川崎市幸区南幸町1-2-7	歯科・小児歯科・口腔外科・矯正	無
メロディー歯科	小早川 綾子	川崎市幸区塚越1-67 サンハイツ沼田101	歯科・小児歯科・歯科口腔外科・矯正歯科	無
玉置歯科医院	玉置 和延	川崎市中原区新城3-15-18	歯科	無
てつお歯科クリニック	朝山 哲夫	川崎市中原区上小田中6-20-3-2F	歯科・歯科口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
武蔵小杉クリニック	石原 浩	川崎市中原区小杉町1-403 タワープレイス1F	歯科一般	無
矢島歯科医院	矢島 一成	川崎市中原区新丸子町769 新丸子ビル1階	一般歯科・小児歯科	無
及川歯科	及川 栄郎	川崎市中原区中丸子558	歯科	無

新丸子デンタルクリニック	金本 大	川崎市中原区新丸子町739-2	歯科・口腔外科	無
上村歯科医院(かみう)	上村 勲	川崎市中原区宮内2-14-5	歯科	無
小林歯科医院	小林 敏伸	川崎市中原区木月2-8-5	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
いなほ歯科クリニック	小林 英樹	川崎市中原区上小田中6-23-2-2F	歯科・歯科口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
さかい歯科	坂井 聡	川崎市中原区新丸子町754-3 NFEビル1F	歯科	無
さとう歯科医院	佐藤 哲郎	川崎市中原区新丸子東1-829	歯科・小児歯科	無
島歯科医院	島 夏夫	川崎市中原区井田杉山町29-6	一般歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科	無
中ノ町歯科	鈴木 育也	川崎市中原区井田中ノ町35-5黒佐ビル2F	歯科・小児歯科	無
鈴木歯科クリニック	鈴木 幸一	川崎市中原区木月1-21-7小山ワールドビル3F	歯科・矯正歯科・小児歯科	無
徳力歯科医院	徳力 博	川崎市中原区小杉御殿町1-937	歯科	無
にかもと歯科医院	二家本 晃	川崎市中原区宮内1-8-3ハウスクリニック4F	一般歯科・矯正歯科	無
新城アイモール歯科	原 寛	川崎市中原区新城3-1-3 メテナーテ1F	歯科・小児歯科・歯科口腔外科・矯正歯科	無
藤原歯科医院	藤原 潤	川崎市中原区新丸子東1-779	歯科	無
星野歯科クリニック	星野 淳一郎	川崎市中原区西加瀬16-10	一般歯科・小児歯科・口腔外科	無
宮川歯科医院	宮川 謙次	川崎市中原区木月1-15-10	歯科	無
武蔵小杉デンタルクリニック	宮尾 昌祥	川崎市中原区中丸子13-20クレール武蔵小杉101	歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
山王歯科クリニック	仲宗根 克幸	川崎市中原区上丸子山王町2-104Bヤマトビル1F	一般歯科・小児・予防・矯正・口腔外科	無

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

1. 医師を対象とした研修(平成28年度実績)	13回	(別添1)
2. 上記以外の研修(平成28年度実績)	14回	(別添2)

2 研修の実績

(1)地域の医療従事者への実施回数	27回
(2)(1)の合計研修者数	188人

(注)1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注)2 (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有 ・ 無

イ 研修委員会設置の有無 有 ・ 無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役職等	臨床経験年数	特 記 事 項	
番場 正博	医師	小児科	理事	41 年	別紙 特記事項のとおり	
原 智	医師	泌尿器科	部長	21 年		
井上 健太郎	医師	内科	副医長	10 年		
津村 和夫	医師	糖尿病内科	部長	19 年		
荒木 耕生	医師	小児科	医長	8 年		
三原 規奨	医師	外科	副医長	12 年		
西脇 正夫	医師	手肘外科センター	部長	21 年		
樋口 隆幸	医師	産科	医長	16 年		
森田 慶久	医師	麻酔科	部長	24 年		
杉浦 仁	医師	検査科	部長	32 年		
豊田 恵子	薬剤師	薬剤部	担当係長	16 年		
岡本 朋江	看護師	地域医療部	担当課長	37 年		研修管理委員
千島 美奈子	看護師	看護部	副看護部長	33 年		研修管理委員
榎原 弘成	看護師	看護部	担当課長	20 年	研修管理委員	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	145.2㎡	(主な設備)可動式 プロジェクター マイク
会議室	85.8㎡	(主な設備)机 台 椅子 脚 ホワイトボード
医局カンファレンスルーム	65.0㎡	(主な設備)
看護実習室	44.8㎡	(主な設備) ベッド モデル人形3体 酸素パイピング 吸引配管 ホワイトボード2台 テーブル付椅子12脚
図書室	134.0㎡	(主な設備) 蔵書約10,400冊 電子ジャーナル27誌 電子ジャーナルパッケージ パソコン10台
研究室	9.5㎡	(主な設備)パソコン、電話、電子カルテ端末

別紙 特記事項

研修指導者氏名	職種	特記事項
番場 正博	医師	日本小児科学会専門医、感染制御医師(ICD)
原 智	医師	日本泌尿器科学会専門医・指導医、がん治療認定医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医(泌尿器腹腔鏡)
井上 健太郎	医師	消化器内科全般 胆・膵疾患 日本内科学会認定総合内科専門医、日本消化器病学会専門医
津村 和夫	医師	日本内科学会認定総合内科専門医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医・指導医、日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医・指導医、日本病態栄養学会認定病態栄養専門医、日本病態栄養学会認定NSTコーディネータ、日本抗加齢医学会専門医、日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、日本糖尿病協会療養指導医、日本医師会認定産業医
荒木 耕生	医師	日本小児科学会小児科専門医
三原 規契	医師	肝胆膵外科 一般消化器外科 胆道内視鏡治療 腹腔鏡下手術 日本外科学会専門医
西脇 正夫	医師	日本整形外科学会専門医、日本手外科学会認定手外科専門医、日本手外科学会代議員、日本整形外科学会運動器リハビリテーション医、日本整形外科学会脊椎脊髄病医、
樋口 隆幸	医師	日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医、日本超音波医学会超音波専門医(産婦人科)、日本周産期新生児医学会暫定指導医・評議員、日本周産期新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医(腹腔鏡)
森田 慶久	医師	麻酔科標榜医、日本麻酔科学会専門医・指導医
杉浦 仁	医師	日本病理学会専門医・指導医、日本臨床検査医学会管理医
豊田 恵子	薬剤師	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師(日本病院薬剤師会)、小児薬物療法認定薬剤師(日本小児臨床薬理学会/日本薬剤師研修センター)、日本糖尿病療養指導士(日本糖尿病療養指導士認定機構)、認定実務実習指導薬剤師(日本薬剤師研修センター)、生涯研修履修認定薬剤師(日本病院薬剤師会)

別添1

平成28年度 医師を対象とした研修 (川崎市立川崎病院 病診連携の会)

5月27日(金)	名称	第22回川崎リウマチ・膠原病診療懇話会	参加者	計
	場所	川崎病院	開業医 11	27
	講師		川崎病院医師 16	
	講演内容	症例検討		
6月7日(火)	名称	第2回川崎区医師会・川崎病院「外科系症例検討会」	参加者	
	場所	川崎病院	開業医 10	31
	講演内容	外科系症例検討会	川崎病院医師 21	
6月15日(水)	名称	第368回川崎小児科医会	参加者	計
	場所	川崎病院	開業医 12	42
	講師		川崎病院医師 15	
	講演内容	小児科症例検討会		
6月24日(金)	名称	第4回川崎泌尿器科病診連携の会	参加者	
	場所	川崎病院	開業医 4	12
	講師		川崎病院医師 8	
	講演内容	泌尿器科症例検討会		
7月14日(木)	名称	学術講演会	参加者	
	場所	川崎病院	開業医 4 他職種 10	54
	講師		川崎病院医師 20	
	講演内容	「基礎から理解する前立腺癌の臨床」	川崎病院看護師 20	
7月15日(金)	名称	精神科講演会	参加者	
	場所	川崎病院	開業医・他職種 19	41
	講師		川崎病院医師 7	
	講演内容	「精神医療における多点支持の必要性～地域化の取組とアウトリーチ～」	川崎病院看護師 12	
		「持続性注射製剤治療の基本と実際」	川崎病院PSW 3	
11月16日(水)	名称	第23回川崎リウマチ膠原病診療懇話会	参加者	計
	場所	川崎病院	開業医 4	21
	講師		川崎病院医師 17	
	講演内容	症例検討会		
11月28日(月)	名称	川崎病院学術講演会	参加者	
	場所	川崎病院	川崎病院医師 45	57
	講師		川崎病院看護師 6	
	講演内容	症例検討会	川崎病院事務職 6	
11月29日(火)	名称	川崎地区 Risk Management 学術講演会	参加者	
	場所	川崎病院	開業医 2	23
	講師		川崎病院医師 7	
	講演内容	「最近の病院リスクマネジメントについて～不眠症とせん妄を中心に～」	川崎病院看護師 2	
		川崎病院薬剤部 11		
		川崎病院事務職 1		

12月12日 (月)	名称	院外処方箋の臨床検査値記載に関する勉強会	参加者	計
	場所	川崎病院	調剤薬局薬剤師 51	72
	講師		川崎病院職員 17	
	講演内容	「臨床検査値の考え方」	学生他 4	

平成29年 1月20日(金)	名称	第2回リウマチ膠原病セミナー	参加者	計
	場所	川崎病院	開業医 1	11
	講師		川崎病院医師 10	
	講演内容	「ループス胃炎の治療戦略」		

平成29年 2月15日(水)	名称	第374回川崎小児科医会	参加者	計
	場所	川崎病院	開業医 10	25
	講師		川崎病院医師 15	
	講演内容	症例検討会		

平成29年 2月24日(金)	名称	第7階幸・川崎病院NET	参加者	計
	場所	川崎病院	開業医 13	32
	講師		川崎病院医師 19	
	講演内容	「虚血性心疾患のリスク低減について」 「川崎病院における悪性脳腫瘍治療について」		

別添2

平成28年度 医師以外を対象とした研修 (川崎市立川崎病院 認定看護師の勉強会)

5月11日(水)	名称	しっとくナース川崎病院公開講座	参加者	計
	場所	川崎病院	院外看護師等 15	15
	講師			
	講演内容	「脳卒中患者の体位変換とポジショニング」		
6月15日(水)	名称	認定看護師出張講座	参加者	計
	場所	川崎病院	院外看護師等 15	15
	講師			
	講演内容	「認知症高齢者の急変時を見逃さないポイント」		
7月6日(水)	名称	しっとくナース川崎病院公開講座	参加者	計
	場所	川崎病院	院外看護師 19 福祉職 12 川崎病院看護師 26	57
	講師			
	講演内容	「食べるためにできること」		
9月7日(水)	名称	しっとくナース川崎病院公開講座	参加者	計
	場所	川崎病院	院外看護師等 18	18
	講師			
	講演内容	「高齢者のインスリン療法」		
9月23日(金)	名称	認定看護師出張講座	参加者	計
	場所	川崎病院	院外看護師等 30	30
	講師			
	講演内容	感染症対策		
9月27日(火)	名称	認定看護師出張講座	参加者	計
	場所	ふれあいの園	院外看護師 11	11
	講師			
	講演内容	緊急時の対応		
10月4日(火)	名称	地域ケア懇談会	参加者	計
	場所	川崎病院	院外看護師等 45 川崎病院看護師 35	80
	講師			
	講演内容	事例検討会		
10月7日(金)	名称	認定看護師出張講座	参加者	計
	場所	老人保健施設協会	院外看護師等 25	25
	講師			
	講演内容	「高齢者のフットケア」		
10月28日(金)	名称	認定看護師出張講座	参加者	計
	場所	育桜福祉会 障害者福祉施設「こぶし園」	院外看護師等 20	20
	講師			
	講演内容	「皮膚トラブルに対しての最新看護ケアと施設での対応」		
12月2日(金)	名称	認定看護師出張講座	参加者	計
	場所	老人福祉施設「葵の園」	院外看護師 25 施設職員 5	30
	講師			
	講演内容	「誤嚥性肺炎を防ぐコツ」		

平成29年 1月11日(水)	名称	しっとくナース川崎病院公開講座	参加者	計
	場所	川崎病院	院外看護師等 19	19
	講師			
	講演内容	「排便ケア」		
平成29年 1月19日(木)	名称	地域ケア懇談会	参加者	計
	場所	川崎病院	院外看護師 8	63
	講師		ケアマネージャー 5・医師	
			社会福祉士他 3	
講演内容	事例検討会	川崎病院職員 46		
平成29年 3月1日(水)	名称	しっとくナース川崎病院公開講座	参加者	計
	場所	川崎病院	院外看護師等 14	43
	講師		川崎病院看護師 29	
	講演内容	「認知症高齢者のアセスメントの視点とは」		
平成29年 3月3日(金)	名称	認定看護師出張講座	参加者	計
	場所	帝京大学老人保健センター	院外看護師等 40	40
	講師			
	講演内容	「褥瘡の予防と褥瘡の対応」		

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 成松 芳明
管理担当者氏名	医事課長 佐藤 康明

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテ (医療情報システム) 医事課	各部門システムに保管されている情報も電子カルテのサーバーに接続されているため、電子カルテから確認することができる。 電子カルテは、1患者1IDで永年保存していて、診断名はICD-10、術式はKコードを使用している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療部 地域医療連携室	/
	救急医療の提供の実績		
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績		
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概要を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	病院長 成松 芳明
閲覧担当者氏名	地域医療部 藤岡 亮太
閲覧の求めに応じる場所	地域医療部 地域医療連携室
閲覧の手続の概要	
1 連携登録医は、「閲覧申込書(別紙7-1)」に、閲覧希望日時・閲覧を希望する諸記録等を記入して地域医療部あてにFAX等により連絡を行う(申込みをする)。	
2 地域医療部は申込を受け付けたら、閲覧日時の確認、調整等を行い、日時を決定する。	
3 日時が決定したら、地域医療部は、当該日時を閲覧申込書に記入し、連携登録医あて返信する。	
4 連携登録医が患者の診療記録を閲覧する場合は、事前に患者から同意書を取得する。	
5 連携登録医は、決定した日時に地域医療部地域医療連携室において閲覧を行う(同意書も提出する)。	

前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

閲覧申込書

(あて先)川崎市立川崎病院長

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧を申し込みます。

連携登録医 医療機関の名称	閲覧希望者 氏名
閲覧希望日時	年 月 日 () 時 分

閲覧を希望する諸記録

チェック	
	診療記録 患者氏名 生年月日 年 月 日
	共同利用の実績
	救急医療の提供の実績
	地域の医療従事者の資質向上を図るための研修の実績
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿

※ 川崎病院記入欄

諸記録の閲覧について、次の日時に当院地域医療連携室までお越しください。

年 月 日 () 時 分

川崎市立川崎病院長

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4 回	平成28年 4月25日開催 平成28年 8月 1日開催 平成28年11月 7日開催 平成29年 2月 6日開催
委員会における議論の概要		
名称	川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会	
委員	別紙8-1 「委員構成」のとおり	
委員の就任	別紙8-2 「就任承諾書」のとおり	
履歴書	別紙8-3 「履歴書」のとおり	
委嘱状	別紙8-4 「委嘱状」のとおり	
要綱	別紙8-5 「川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱」 のとおり	
標記委員会の議論の概要		
第1回 別紙8-6	<ul style="list-style-type: none">・ 会議録・ 委員宛委嘱状の交付・ 委員長及び副委員長の選出・ 議事録署名人選出・ 地域医療支援病院と称することについて・ その他	
第2回 別紙8-7	<ul style="list-style-type: none">・ 会議録・ 議事録署名人選出・ 地域医療支援病院に関する周知について・ その他	
第3回 別紙8-8	<ul style="list-style-type: none">・ 会議録・ 議事録署名人選出・ 紹介患者の数等について・ その他	
第4回 別紙8-9	<ul style="list-style-type: none">・ 会議録・ 議事録署名人選出・ 紹介患者の数等について・ その他	
会議録等	「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条に基づき、標記委員会は公開としている。 また、同条例第9条に基づき、標記委員会は会議録を作成している。 さらに、同条例第10条に基づき、会議録の写しを閲覧に供することとしている。	

特記事項 「川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会」はその前身である「川崎市立川崎病院運営委員会準備委員会」を移行し構成されているため、「就任承諾書」・「履歴書」は等は変更のあった委員を除き、準備委員会のものを用いている。

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

川崎市立川崎病院 第1回 地域医療支援病院 運営委員会

次 第

平成28年4月25日(月)
13時30分～14時30分
川崎病院4階会議室

- 1 開 会
- 2 病院長あいさつ
- 3 委嘱状交付
- 4 委員自己紹介
- 5 病院側出席者紹介
- 6 運営委員会要綱説明 資料1 (P1)
- 7 委員長・副委員長選出
- 8 議事録署名人選出
- 9 議 題
 - (1) 地域医療支援病院と称することについて 資料2 (P3)
 - (2) 地域医療支援病院の紹介率等について 資料3 (P4)
 - (3) 連携登録医の登録状況等について 資料4 (P5)
 - (4) 医療機器共同利用について 資料5 (P6)
 - (5) 地域の医療従事者を対象とした研修について 資料6 (P8)
 - (6) 県がん診療連携指定病院と敷地内禁煙について 資料7 (P9)
 - (7) その他
 - ア 次回開催日程について
 - イ その他
- 10 閉 会

参考資料1 前回準備委員会会議録

参考資料2 地域医療連携便り

配布資料

- 資料1 川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱
- 資料2 川崎病院の概要
- 資料3 地域医療支援病院について
- 資料4 紹介率・逆紹介率について
- 資料5 連携登録医制度について
- 資料6 今後のスケジュール

- 参考資料1 川崎病院の基本理念等
- 参考資料2 診療のご案内
- 参考資料3 地域連携だより

川崎市立川崎病院
第 1 回 地域医療支援病院運営委員会 会議録

1 開催日時 平成 28 年 4 月 25 日 (月) 13 時 30 分～14 時 20 分

2 開催場所 川崎病院 4 階会議室

3 出席者

(1) 委員

村山 均 (委員長)	川崎市医師会副会長
金井 久弥 (副委員長)	川崎区歯科医師会会長
鈴木 真	川崎区医師会会長
田角 喜美雄	幸区医師会会長
髭内 宏光	幸区歯科医師会副会長
高橋 義和	川崎区薬剤師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会会長
深瀬 欣之助	川崎区中央地区連合町内会会長
田崎 薫	川崎市健康福祉局保健所長
雨宮 文明	川崎区役所保健福祉センター所長
京増 俊彦	川崎市消防局川崎消防署長

(2) 川崎病院

成松 芳明	病院長
竹中 信夫	副院長
大曾根 康夫	副院長
綱嶋 たかえ	副院長
中道 憲明	整形外科担当部長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
飯島 尚志	薬剤部長
田邊 雅史	事務局長
林 徳厚	事務局・地域医療部担当部長
川野 保夫	放射線診断科担当課長
勝野 隆	庶務課長
佐藤 康明	医事課長
岡本 朋江	地域医療部担当課長
藤岡 亮太	地域医療部担当課長
増田 光代	地域医療部担当係長

4 資料

川崎市立川崎病院 第 1 回 地域医療支援病院 運営委員会 次第
委員名簿

座席表

資料 1 川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱

資料 2 地域医療支援病院名称承認書

資料 3 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

- 資料4 連携登録医の登録状況等について
- 資料5 平成27年度医療機器共同利用
- 資料6 平成27年度地域医療連携研修会年間計画・実施状況
- 資料7 県がん診療連携指定病院と敷地内禁煙について
- 参考資料1 前回準備委員会会議録
- 参考資料2 地域医療連携便り

5 内容

(1) 開会(司会進行 林担当部長 以下(8)まで)

川崎市看護協会常務理事の原田委員は本日欠席との連絡があった。

(2) 病院長あいさつ

4月より川崎病院の院長を拝命した成松です。

本日はお忙しいところ御出席いただきましてありがとうございます。

前の増田院長の頃から懸案の「地域医療支援病院」の承認をこのたび得ることができ、いよいよ川崎病院も「地域医療支援病院」としての運営を開始する。

今後はより一層地域の皆様と連携していかなければならないが、いろいろな御支援・御指導をいただく上で、この運営委員会が非常に大事になる。

このたびは村山準備委員長の御指導の下、本日運営委員会を開催することができた。

「地域医療支援病院」の運営にあたり、今後も御指導をよろしくお願ひしたい。

(3) 委嘱状交付

前回準備委員会では委員の任期を平成28年3月31日までとしていた。今回運営委員会に移行したため、改めて病院長から委員11名(1名欠席)宛それぞれ委嘱状を交付(任期は平成30年3月31日まで)。

(4) 委員自己紹介

各委員から自己紹介

(5) 病院側出席者紹介等

病院側出席者の自己紹介

(6) 配布資料の確認

次第、委員名簿、座席表、資料1～7及び参考資料1～2が、それぞれ各委員の手元にあることを確認。

(7) 運営委員会要綱説明

(藤岡担当課長)

「資料1 川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱」に基づき、前回の準備委員会から改正になった事項(要綱の名称、要綱第1条及び第4条)等を説明。

(8) 委員長・副委員長選出

前回は準備委員会であったが、今回運営委員会に移行したことにより改めて要綱第5条に基づき、委員長及び副委員長を選出

委員互選により村山均委員を委員長に選出

村山委員長の指名により金井久弥委員を副委員長に選出

村山委員長及び金井副委員長から就任のあいさつ

(9) 議事録署名人選出

「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」等に基づき、会議録の作成、委員に

よる当該会議録の確認等のための議事録署名人を選出（議事録署名人は委員会開催の都度委員長が指名）。

村山委員長から、本日は雨宮委員を議事録署名人に指名（雨宮委員了解）。

(10) 会議の公開について（進行 村山委員長）

村山委員長から、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、この運営委員会には非公開事由に該当する事項がないため公開とすることについて確認（各委員にも公開することについて確認）。

村山委員長から傍聴希望者の有無について確認。

藤岡担当課長から傍聴希望者1名と報告。

傍聴希望者1名入室。

(11) 議 題（進行 村山委員長）

ア 地域医療支援病院と称することについて

（藤岡担当課長）

- ・「資料2 地域医療支援病院名称承認書」に基づき説明。
- ・平成28年3月30日に川崎病院が地域医療支援病院と称することができるようになった。

イ 地域医療支援病院の紹介率等について

（藤岡担当課長）

- ・「資料3 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率」に基づき説明。
- ・紹介率とは初診患者の数を分母に紹介患者の数を分子にしたもの、また逆紹介率とは初診患者の数を分母に逆紹介患者の数を分子にしたものと説明。
- ・地域医療支援病院における紹介率等の要件は、資料下の枠の中の①～③のうちどれか一つを満たす必要がある。
- ・川崎病院は、平成26年度「紹介率53.7%」「逆紹介率72.3%」となったことで「③紹介率50%以上であり、かつ、逆紹介率70%以上」を達成した。
- ・これを達成したことで、地域医療支援病院の申請を行い、このたび承認を得ることができた。
- ・また、平成27年度も「紹介率61.7%」「逆紹介率78.8%」となり、③の要件を達成している。
- ・地域医療支援病院では今後も③を達成し続けなくてはならず、そのためには地域医療連携の強化が必要である。

ウ 連携登録医の登録状況等について

（藤岡担当課長）

- ・「資料4 連携登録医の登録状況等について」に基づき説明
- ・前回10月27日開催した時（準備委員会）にも同様の資料を配布したが、その時点では計237の施設が川崎病院の連携登録医に登録していた。今回4月25日現在では350の施設が川崎病院の連携登録医になっている。
- ・この連携登録医に登録した医院の名称は、資料右下の写真のとおり院内に掲示をしている。掲示場所は1階外来からエレベータに行く通路左側壁面にある。
- ・その他資料の写真にある施設についても、連携登録医は利用可能である。

エ 医療機器共同利用について

(藤岡担当課長)

- ・「資料5 平成27年度医療機器共同利用」に基づき説明。
- ・地域医療支援病院では、この医療機器共同利用の体制も整備する必要がある。
- ・共同利用している医療機器を個別にみると、MRI・CT・内視鏡の件数が毎月とも多くなっている。
- ・平成23年度からの統計を載せたが、平成27年度が最も多く計458件となっている。月別では、3月及び10月が多い傾向である。

オ 地域の医療従事者を対象とした研修について

(藤岡担当課長)

- ・「資料6 平成27年度地域医療連携研修会年間計画・実施状況」に基づき説明。
- ・地域医療支援病院では、地域の医療従事者を対象とした研修を年12回開催しなくてはならないが、ここにあるとおり平成27年度は、計32回開催した。

(村山委員長)

- ・ここままで、何か質問等はあるか。

(鈴木委員)

- ・資料4について、写真にある「連携登録医室」「図書室」「カルテ閲覧場所」等は何階にあるのか、また、川崎病院に紹介した患者のカルテを閲覧したい場合、どのような手続きをすればよいのか。

(藤岡担当課長)

- ・「連携登録医室」「図書室」「研究室」「カルテ閲覧場所」は全て4階にある。
- ・利用を希望する場合は、事前に連絡をいただきFAXで申し込むことにより利用できる(日時を決定して返信する)。

(鈴木委員)

- ・窓口は地域医療連携室ということでよいか。

(藤岡担当課長)

- ・はい、地域医療連携室担当藤岡まで連絡してほしい。

(村山委員長)

- ・他には何かあるか。
- ・なければ、次の議題「県がん診療連携指定病院と敷地内禁煙について」に移る。

カ 県がん診療連携指定病院と敷地内禁煙について

(藤岡担当課長)

- ・「資料7 県がん診療連携指定病院と敷地内禁煙について」に基づき説明。
- ・7月1日から敷地内全面禁煙とするので御協力をお願いしている。
- ・また、今後、がん診療についても、地域の先生と連携して推進していきたい。

(村山委員長)

- ・議題(6)の説明について、何かあるか。

(委員)

- ・9月に申請するということだが、その場合、県がん診療連携指定病院には、いつになるのか。

(藤岡担当課長)

- ・川崎病院が平成29年4月に県がん診療連携指定病院になるために、28年9月に

申請する必要がある。

(成松院長)

- ・ 補足して説明すると、今川崎病院が県がん診療連携指定病院になるために要件の整備をしているところで、その中で敷地内禁煙は大きな課題になっている。
- ・ 今までは建物内禁煙だけであったが、今回の申請を機会として、病院の敷地内禁煙まで施行しようとしている。
- ・ 委員の皆様や地域の皆様にも御協力いただく必要はあるが、まずは病院職員の禁煙を徹底することから始める。7月1日開始を目標としたので、これに向けてがんばっていくことになる。
- ・ 禁煙外来についても将来的に考えているので、よろしくお願ひしたい。

(村山委員長)

- ・ 職員の完全禁煙は可能か。

(成松院長)

- ・ まず職員が禁煙を守れないようであれば、対外的な発信はできないと考えている。

キ その他

(村山委員長)

- ・ その他、何かあるか。

(藤岡担当課長)

- ・ 次回開催について説明。
- ・ 地域医療支援病院はこの運営委員会を四半期に1回開催する必要がある。
- ・ 今回第1回を4月に開催したので、次回以降は例えば7月、10月、1月となる。
- ・ 今後第〇週〇曜日と言った日程で開催できないか、次回7月開催までに決めたい。

(村山委員長)

- ・ 都合の悪い週、曜日があれば、委員は早めに事務局に言っておいた方がよい。

(小林委員)

- ・ 開催時間はこの時間（13時30分～）なのか。

(藤岡担当課長)

- ・ そのように考えている。

(林担当部長)

- ・ できれば次回開催日程は後日調整したい。

(村山委員長)

- ・ その他、何か質問等を出してほしい。

(田邊事務局長)

- ・ 川崎病院は今回地域医療支援病院となり急性期病院として患者さんを御紹介いただくことになる。
- ・ しかし今までの経緯もあって、地域の中には、「川崎病院がかかりつけ医・診療所である」といった認識を持っている人もいるのでは、と危惧している。

(深瀬委員)

- ・ 「川崎病院は地域医療支援病院である」ということが周知徹底しているとは言えない。今までどおり「軽症でも診てくれる」という感覚はまだ地域に残っている。
- ・ もう少し周知というか、一般の人にもわかるようなPRが必要であろう。

(田邊事務局長)

・わかりました。ありがとうございます

(村山委員長)

・川崎病院の準夜帯・深夜帯の当直体制について聞きたい。

(竹中副院長)

- ・当直は11本立てで、救急車はこれとは別に救急救命センターで診ている。
- ・特殊な診療科（新生児・産婦人科・精神科等）では、医師が院内にいる。
- ・ウォークインの患者さんは総合内科が診る。
- ・三次救急では、心肺停止の患者さんが同時に来ってしまうこともある。
- ・医師だけでなく、トリアージナースが順番等の振り分けをすることもある。
- ・即入院というケースもあれば、しばらく治療をして患者さんの様子を診ながら入院を決めることもある。

(村山委員長)

・これで全ての議題が終了した。

(12) 閉 会

(成松院長)

- ・運営委員会は年4回あるが、御質問・御意見等があれば、いつでも地域医療部へ連絡してほしい。
- ・地域との関係を深めながら、今後も運営していきたい。

議事録署名人

川崎市立川崎病院 地域医療支援病院運営委員会

委員 _____ 印

川崎市立川崎病院 第2回 地域医療支援病院 運営委員会

次 第

平成28年8月1日（月）
13時30分～14時30分
川崎病院4階会議室

1 開 会

2 病院長あいさつ

3 議事録署名人選出

4 傍聴人の確認・入室

5 議 題

- | | |
|-------------------------------|------------|
| (1) 地域医療支援病院に関する周知について | 資料 1 (P1) |
| (2) 地域医療支援病院の紹介率等について | 資料 2 (P2) |
| (3) 連携登録医の登録状況等について | 資料 3 (P3) |
| (4) 医療機器共同利用について | 資料 4 (P5) |
| (5) 地域の医療従事者を対象とした研修について | 資料 5 (P6) |
| (6) 手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）の導入について | 資料 6 (P7) |
| (7) 地域医療連携支援システムの導入に向けた調査について | 資料 7 (P9) |
| (8) 県がん診療連携指定病院に向けた取組について | 資料 8 (P12) |
| (9) その他 | |
| ア 非紹介患者初診加算料の改正について | |
| イ 市民公開講座のお知らせについて | 資料 9 (P17) |
| ウ 「診療のご案内」の発行について | |
| エ 次回開催日程について（11月7日（月）13時30分～） | |
| オ その他 | |

6 閉 会

参考資料1 前回運営委員会 会議録

参考資料2 連携登録医一覧（平成28年3月31日）

参考資料3 「1. 紹介患者予約システム」外の冊子

参考資料4 地域医療連携便り vol.12

1 開催日時 平成28年8月1日(月)13時30分~14時35分

2 開催場所 川崎病院4階会議室

3 出席者

(1) 委員

村山 均(委員長)	川崎市医師会副会長
金井 久弥(副委員長)	川崎区歯科医師会会長
鈴木 真	川崎区医師会会長
田角 喜美雄	幸区医師会会長
髭内 宏光	幸区歯科医師会副会長
高橋 義和	川崎区薬剤師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会会長
深瀬 欣之助	川崎区中央地区連合町内会会長
田崎 薫	川崎市健康福祉局保健所長
雨宮 文明	川崎区役所保健福祉センター所長
京増 敏彦	川崎市消防局川崎消防署長

(2) 川崎病院

成松 芳明	病院長
竹中 信夫	副院長
大曾根 康夫	副院長
綱嶋 たかえ	副院長
中道 憲明	整形外科担当部長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
榎林 敦	小児科医長
田邊 雅史	事務局長
林 徳厚	事務局・地域医療部担当部長
川野 保夫	放射線診断科担当課長
佐藤 康明	医事課長
岡本 朋江	地域医療部担当課長
藤岡 亮太	地域医療部担当課長
増田 光代	地域医療部担当係長

4 資料

川崎市立川崎病院 第2回 地域医療支援病院 運営委員会 次第
委員名簿

座席表

資料1 地域医療連携について

資料2 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

資料3 連携登録医の登録状況

資料4 医療機器共同利用

- 資料5 地域の医療従事者を対象とした研修について
- 資料6 低侵襲手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入しました
- 資料7 地域医療連携支援システムの導入に向けた調査について
- 資料8 県がん診療連携指定病院に向けた取組について
- 資料9 市民公開講座
- 参考資料1 前回運営委員会 会議録
- 参考資料2 連携登録医一覧（平成28年3月31日）
- 参考資料3 「1. 紹介患者予約システム」外の冊子
- 参考資料4 地域医療連携便り vol.12

5 内 容

- (1) 開 会（司会進行 林担当部長 以下（4）まで）

本日司会進行を務めさせていただきます、事務局担当部長林です。よろしくお願いします。
- (2) 病院長あいさつ
病院長の成松です。
本日は天候不良の中、地域医療支援病院運営委員会に御出席いただきましてありがとうございます。
この「地域医療支援病院」の承認を得て4か月が経過したところです。これまでの当院の活動その他経過報告させていただき、委員の皆様からは忌憚のない御意見・御議論をいただきたいと思っております。
本日はどうぞよろしくお願いいたします。
- (3) 配布資料の確認
次第、委員名簿、座席表、資料1(P1)～資料9(P17)及び参考資料1～4が、それぞれ各委員の手元にあることを確認。
- (4) 議事録署名人選出
「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」等に基づき、会議録の作成、委員による当該会議録の確認等のための議事録署名人を選出（議事録署名人は委員会開催の都度委員長が指名）。
村山委員長から、本日は京増委員を議事録署名人に指名（京増委員了解）。
- (5) 会議の公開について（進行 村山委員長）
村山委員長から、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、この運営委員会には非公開事由に該当する事項がないため公開とすることについて確認（各委員にも公開することについて確認）。
村山委員長から傍聴希望者の有無について確認。
藤岡担当課長から傍聴希望者2名と報告があり、傍聴希望者2名入室。
- (6) 議 題（進行 村山委員長）
 - ア 地域医療支援病院に関する周知について
（林担当部長）
 - ・「資料1 地域医療連携について」に基づき説明。
 - ・前回運営委員会で、地域医療支援病院の周知について、委員から御意見をいただいていた。

- ・これを受けて、7月6日開催の川崎区町内会連合会理事会に出席して、「地域医療連携について」「かかりつけ医を持つこと」「紹介状を持って当院の予約をしてほしい」「10月1日から非紹介患者初診加算料が変更する」等を説明した。
 - ・しかし、まだ周知が足りないと感じたので、今後機会をとらえて周知に努めたい。
- イ 地域医療支援病院の紹介率等について

(岡本担当課長)

- ・「資料2 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率」に基づき説明。
- ・前回委員会では、平成27年度「紹介率61.7%」「逆紹介率78.8%」と報告した。
- ・地域医療支援病院の要件は資料2の下段③のとおりで、「紹介率50%以上」「逆紹介率70%以上」を目指しているが、平成28年度4～6月は、「紹介率60.5%」「逆紹介率80.1%」となっている。
- ・今後も地域の医療機関との連携強化に努めていきたい。

(原田委員)

- ・基本的なことだが、この紹介率・逆紹介率は地域連携室が関わっているのか。

(岡本担当課長)

- ・医事課と地域医療部が共同して数値を算出している。

(原田委員)

- ・逆紹介においては地域の医療機関との関わりが重要と考えている。どういう患者さんについての比率なのか。

(村山委員長)

- ・紹介率・逆紹介率について、再度説明してほしい。

(岡本担当課長)

- ・紹介率とは初診患者さんの人数を分母に紹介状を持参した患者さんの人数を分子にしたもの、また逆紹介率とは初診患者さんの人数を分母に地域の医療機関に逆紹介した患者さんの人数を分子にしたものである。

(田角委員)

- ・確認だが、初診患者さんの人数とは日勤帯の患者さんの人数のみということか。

(岡本担当課長)

- ・初診患者さんの人数については、休日及び時間外の患者さんの人数並びに時間内であっても救急搬送の患者さんの人数は除外している。

(田角委員)

- ・逆紹介の患者さんの人数には、紹介状持参の患者さん以外はカウントしないのか。

(岡本担当課長)

- ・逆紹介の患者さんの人数には、紹介状持参の患者さん以外も入っている。

ウ 連携登録医の登録状況等について

(藤岡担当課長)

- ・「資料3 連携登録医の登録状況」に基づき説明
- ・平成28年7月31日現在で、計359名の先生方が川崎病院の連携登録医に登録している。
- ・4～7月には、連携登録医の登録数が13増加している。
- ・なお、平成28年3月31日現在では、参考資料2のとおり計346名の先生方が連

携登録医に登録していた。

(田角委員)

- ・参考資料2のP4にある夢見ヶ崎医院は、医師がお亡くなりになって廃院になっているので、抹消してほしい。
- ・P5にあるホシノ小児科医院も平成28年3月31日で廃院になっていた。

(藤岡担当課長)

- ・御指摘のとおり訂正します。

(田角委員)

- ・幸区医師会では、開院することにより医師会に新規入会する医師に対して、入会資料と一緒に川崎病院の連携登録医の申込書も渡している。

(鈴木委員)

- ・一年間を通せば、新規開院や閉院する医院がある。
- ・例えば、定期的に川崎病院から照会があって、区の医師会が把握しているものがあれば通知するなど、連携登録医の修正方法について今後検討していきたい。

(藤岡担当課長)

- ・大変ありがとうございます。

(村山委員長)

- ・修正方法等について今後検討してください。

エ 医療機器共同利用について

(岡本担当課長)

- ・「資料4 医療機器共同利用」に基づき説明。
- ・平成27年度は計458件となっていて、月平均38件であった。
- ・平成28年度、4月は50件、5月は45件、6月は39件となっている。

(鈴木委員)

- ・川崎区には民間病院も複数があるので、医療機器の共同利用についても競合関係にあると思う。
- ・地域医療支援病院には、医療機器共同利用の件数が何件以上といった要件はあるのか。

(藤岡担当課長)

- ・医療機器共同利用の制度を整備しておく必要はあるが、件数に関して要件はありません。

(鈴木委員)

- ・川崎病院の医療機器共同利用を希望する先生方も多い。地域の医療機関としても確定診断する際役立っている。
- ・レポートも診断部から出してもらっているが、今後もしっかりやってほしい。

(成松病院長)

- ・ありがとうございます。

オ 地域の医療従事者を対象とした研修について

(岡本担当課長)

- ・「資料5 地域の医療従事者を対象とした研修について」に基づき説明。
- ・地域医療支援病院では、地域の医療従事者を対象とした研修を年12回以上開催

することが要件となっている。

- ・平成28年度は、外科、小児科、リウマチ膠原病センター等が開催し、看護部では認定看護師が中心になって開催している。
- ・28年度4月から現在まで既に9回開催した。9月以降も研修を予定している。

(原田委員)

- ・この予定の中で「地域ケア懇談会」とある。昨年、地域の訪問看護ステーション・関係機関等と連携して開催したが、それと同じものを想定しているのか。

(岡本担当課長)

- ・そういったものを想定している。

(原田委員)

- ・この「地域ケア懇談会」は、どんな方法で周知しているのか。

(岡本担当課長)

- ・昨年度は、訪問看護ステーション・地域包括支援センター等に御案内をした。
- ・今年度については、これから企画するので詳細はまだ決めていないが、川崎南部訪問看護ステーションに代表して連絡し、そこから他のステーションの方々に連絡していただければ、と考えている。

(原田委員)

- ・現在地域の看護職の中では大変関心の高いテーマなので、開催については是非周知をお願いしたい。

(岡本担当課長)

- ・ありがとうございます。

(村山委員長)

- ・「地域ケア懇談会」の主催は「地域連携部会」とあるが、院内の組織なのか。

(岡本担当課長)

- ・はい、川崎病院の委員会の下部組織で昨年までは「退院調整部会」と称していたものが、今年度「地域連携部会」と名称を変更した。
- ・各病棟の看護師を中心に、内科の医師4名、食養科、リハビリ科、放射線科等多職種で構成している。
- ・地域連携部会では年間予定を策定しており、その中で「地域ケア懇談会」の開催も企画している。

(村山委員長)

- ・院内で活動をしているが、対外的には「地域ケア懇談会」を開催しているということになるのか。

(岡本担当課長)

- ・はい、そのとおりです。

カ 手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）の導入について

(竹中副院長)

- ・「資料6 低侵襲手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入しました」に基づき説明。
- ・「ダ・ヴィンチ」とは、鮮明な3D画像を診ながら、医師がロボットアームを操作して手術を行う医療器械である。

- ・前立腺がんの手術を7月27日に行ったが、これが当院で初めて「ダ・ヴィンチ」を使ったものである（経過は順調）。
- ・今後は毎週水曜日に「ダ・ヴィンチ」を使った手術を行う予定で、既に10月初旬までの予約は埋まっている。
- ・地域の先生方の中で、適応の患者さん等がいましたら、当院の泌尿器科宛紹介してほしい。

(藤岡担当課長)

- ・資料6のパフレットは、患者さん向けに広報するものです。
- ・地域の先生方にも同様の御案内を予定している。
- ・各委員のお手元に参考資料4「地域連携便り」を配布したが、次号の「地域連携便り」（現在作成中）において、「ダ・ヴィンチ」を改めて地域の先生方に周知する予定である。

(村山委員長)

- ・「ダ・ヴィンチ」は医師であれば操作できるものなのか。

(竹中副院長)

- ・「ダ・ヴィンチ」の操作には資格が必要である。

(病院長)

- ・現在、泌尿器科の部長が研修をして資格を取得した。他の泌尿器科の医師も資格取得に向けて順次研修を始めている。
- ・今回導入した「ダ・ヴィンチ」は、前立腺がんには保険適用が認められないタイプなので、当院としては前立腺がんの手術に絞った運用をしていきたい。

(村山委員長)

- ・地域の医師が関わることはできるのか。

(病院長)

- ・御希望があれば、通常の手術と同様に術衣に着替えて手術室に入室することも可能である。その場合は、事前に地域医療部宛連絡してほしい。

キ 地域医療連携支援システムの導入に向けた調査について

(藤岡担当課長)

- ・「資料7 地域医療連携支援システムの導入に向けた調査について」及び「参考資料3『1. 紹介患者予約システム』外の冊子」に基づき説明。

(鈴木委員)

- ・このシステムについて、メーカーを決めた上で、いつ頃から稼働するのか、この調査で「すぐ導入したい」と回答した医院に通知をするのか。

(藤岡担当課長)

- ・複数のメーカーが同じようなシステムを開発しているので、現在複数メーカーからヒアリングを実施している。
- ・その上で1社に決定するとともに、併せて個人情報保護についても、川崎市が定める事務に則って進めることとしている。
- ・来年3月頃には何らかの形で、例えばここにある1～4のシステムの中で、いくつか部分的に導入できるのでは、と考えている。

(村山委員長)

- ・時代の流れとしてはこういう方向かと思う。

(病院長)

- ・1～4全てについて、システム対応は可能だが、まずはできることから順番に導入していこうと考えている。
- ・地域の先生方の利便性を考え、まずは診療予約、診断画像の結果のやりとりといった順に導入できればと考えている。
- ・3のシステムのように、川崎病院のカルテの閲覧ということになれば、個人情報保護の問題が生じることになる。
- ・こうしたシステムの導入に積極的な地域の先生方もいらっしゃるので、川崎病院として、できることから進め、順次進捗状況も御報告しながら導入していきたい。

(村山委員長)

- ・希望する地域の先生から導入していくことになるのか。
- ・地域の先生の中には、紙カルテであったり御高齢の先生もいらっしゃるって、こうしたシステムに消極的であったとしても、将来若い先生が地域の中心になれば、こういうシステムが必要になることが考えられる。
- ・地域の先生方の中で、参加できる先生から導入していくことになる。

(病院長)

- ・当分はシステムと併用していく形になると思う。

(村山委員長)

- ・地域の先生はパソコンを用意する必要があるのか。

(藤岡担当課長)

- ・地域の先生方は普通のパソコンを用意し、インターネット環境まで整備しておく必要がある。それ以上のことは必要ない

(原田委員)

- ・このように通信回線で情報が伝わるのであれば、フィルムを持参することもなくなるので患者さんとしてはありがたいが、新たに費用負担は発生しないのか。

(檜林医長)

- ・今後の厚生労働省の方針もあるので何ともいえないが、現状であれば電子になっても変わらないと考えてよいと思う。

(鈴木委員)

- ・現在はCD-ROMを郵送等をするによりデータを受領して、鈴木医院としてデータを取り込んでいるが、CTは入ってもMRIのデータはシステム上拒否されて、なぜか取り込めない場合がある。
- ・このシステムでも、データを取り込むことができないかと思っている。

(川野放射線診断科担当課長)

- ・画像に関しては全てDAICOM規格で入力しているので、通常は入る筈である。
- ・是非調査させていただきたい。

(鈴木委員)

- ・よろしくをお願いします。

(村山委員長)

- ・このシステムでは川崎病院の画像を閲覧するだけか。データを取り込むことはで

きないのか。

(川野放射線診断科担当課長)

- ・メーカーによってまちまちと思うが、データまで移すことはできないものが多いと思う。
- ・通常のパソコンを使用するので、高精細の画像で診ることまではできないと思う。

ク 県がん診療連携指定病院に向けた取組について

(林担当部長)

- ・「資料8 県がん診療連携指定病院に向けた取組について」に基づき説明。
- ・昨年6月に準備委員会が発足し、必須項目を中心として順次整備してきた。

(田角委員)

- ・緩和ケア外来では処方はしないのか、相談に近いものなのか。

(医事課長)

- ・緩和ケア外来は診療はしても、麻薬の処方までは考えていない。

(病院長)

- ・地域の先生方でもし緩和ケア外来を希望するのであれば、まずは川崎病院のがんの各診療科を通した上で話を進めてほしい。

(村山委員長)

- ・がん拠点病院は川崎市内でいくつあるか。

(病院長)

- ・3病院ある。(聖マリアンナ医科大学病院・市立井田病院・関東労災病院)(新百合ヶ丘総合病院は県がん診療指定病院)

ケ その他

(7) 非紹介患者初診加算料の改正について

(藤岡担当課長)

- ・「資料1 地域医療連携について」の右下に基づき説明。

(8) 市民公開講座のお知らせについて

(藤岡担当課長)

- ・「資料9 市民公開講座」に基づき説明。
- ・その後の市民公開講座については10月20日(木)14時から川崎病院講堂において、歯科口腔外科部長の講座を予定している。

(9) 「診療のご案内」の発行について

(藤岡担当課長)

- ・川崎病院では昨年度から各診療科を紹介した冊子を発行している。
- ・今年度版は現在作成中だが、今月中には発行する予定である。

(10) 次回開催日程について

(藤岡担当課長)

- ・次回開催は11月7日を予定している。
- ・また、参考資料として「地域連携便り」を御用意したので、後程御参照ください。
- ・以上でございまして、今後、川崎病院が地域の基幹病院として、また地域医療支援病院として、地域医療の充実を図っていくうえで、委員の皆様方からの御意見やアドバイスをいただければ幸いです。

(4) その他

(村山委員長)

- ・今のことで何かご質問等はないか。

(病院長)

- ・非紹介患者初診加算料が変更になることに関して、患者さんに新たな費用負担が生じると受け取られては困る。
- ・紹介状があれば従前と変わらない、ということについて周知を図っていきたい。

(村山委員長)

- ・事務局から何か意見はないか。

(林担当部長)

- ・本日はありがとうございました。いくつか御提案等をいただきましたので、次回に向けて検討し報告したいと思います。

(鈴木委員)

- ・休日急患診療所が川崎病院宛紹介状を書くと、通常より費用が安い。
- ・疑問に思って過日照会したところ「川崎市の機関がお互い連携する場合はこれでよい」という回答であったが、今後非紹介患者初診加算料が変更になっても、このことについてはそのままでよいのか。

(病院長)

- ・確認させてください。

(7) 閉 会

(村山委員長)

- ・以上で閉会とする

議事録署名人

川崎市立川崎病院 地域医療支援病院運営委員会

委 員 _____ 印

川崎市立川崎病院 第3回 地域医療支援病院 運営委員会

次 第

平成28年11月7日（月）

13時30分～14時30分

川崎病院4階会議室

1 開 会

2 病院長あいさつ

3 議事録署名人選出

4 傍聴人の確認・入室

5 議 題

- | | | |
|------------------------------------|-------|-------|
| (1) 紹介患者の数等について | 資料 1 | (P 1) |
| (2) 非紹介患者初診加算料の件数について | 資料 2 | (P 2) |
| (3) 連携登録医の登録状況等について | 資料 3 | (P 3) |
| (4) 患者さんの応需状況について（受入困難内容等） | 資料 4 | (P 5) |
| (5) 地域の医療従事者を対象とした研修（地域ケア懇談会等）について | 資料 5 | (P 7) |
| (6) 「診療のご案内」の発行について | | |
| (7) 平成27年度 地域医療支援病院業務報告書について | 資料 6 | (P10) |
| (8) その他の取組 | | |
| ア 県がん診療連携指定病院の指定に向けた取組について | 資料 7 | (P12) |
| イ 精神科病棟の改築について | 資料 8 | (P16) |
| ウ 処方箋の様式変更について | 資料 9 | (P18) |
| エ 院内の番号案内表示について | 資料 10 | (P20) |
| オ 市民公開講座について | 資料 11 | (P21) |

6 その他

- (1) 次回開催日程について（平成29年2月6日（月）13時30分～）
- (2) その他

7 閉 会

参考資料1 前回運営委員会 会議録

参考資料2 地域医療連携便り vol.13

参考資料3 広報誌「くすの木」

川崎市立川崎病院
第3回 地域医療支援病院運営委員会 会議録

- 1 開催日時 平成 28 年 11 月 7 日 (月) 13 時 30 分～14 時 40 分
2 開催場所 川崎病院 4 階会議室
3 出席者

- (1) 委員
- | | |
|--------------|-----------------|
| 村山 均 (委員長) | 川崎市医師会副会長 |
| 金井 久弥 (副委員長) | 川崎市歯科医師会会長 |
| 鈴木 真 | 川崎市医師会会長 |
| 田角 喜美雄 | 幸区医師会会長 |
| 鈴木 宏光 | 幸区歯科医師会副会長 |
| 高橋 義和 | 川崎市薬剤師会会長 |
| 原田 美根子 | 川崎市看護協会常務理事 |
| 深瀬 欣之助 | 川崎市中央地区連合町内会会長 |
| 田崎 薫 | 川崎市健康福祉局保健所長 |
| 雨宮 文明 | 川崎市役所保健福祉センター所長 |
| 京増 敏彦 | 川崎市消防局川崎消防署長 |

- (2) 川崎病院
- | | |
|--------|---------------|
| 成松 芳明 | 病院長 |
| 竹中 信夫 | 副院長 |
| 大曾根 康夫 | 副院長 |
| 網嶋 たかえ | 副院長 |
| 田熊 清継 | 救命救急センター所長 |
| 中道 憲明 | 整形外科担当部長 |
| 鬼澤 勝弘 | 歯科口腔外科部長 |
| 齋藤 寿昭 | 精神科部長 |
| 飯島 尚志 | 薬剤部長 |
| 田邊 雅史 | 事務局長 |
| 林 徳厚 | 事務局・地域医療部担当部長 |
| 川野 保夫 | 放射線診断科担当課長 |
| 勝野 隆 | 庶務課長 |
| 佐藤 康明 | 医事課長 |
| 岡本 朋江 | 地域医療部担当課長 |
| 藤岡 亮太 | 地域医療部担当課長 |
| 増田 光代 | 地域医療部担当係長 |

4 資料

川崎市立川崎病院 第3回 地域医療支援病院 運営委員会 次第
委員名簿

座席表

資料1 紹介患者の数等について

資料2 非紹介患者初診加算料の件数について

- 資料3 連携登録医の登録状況等について
- 資料4 平成28年度 緊急受診・入院・転院依頼 応需状況
- 資料5 平成28年度 地域の医療従事者を対象とした研修 実施状況等
- 資料6 地域医療支援病院業務報告書
- 資料7 川崎病院での緩和ケア／がん相談支援センター
- 資料8 精神科病棟の全室閉鎖病棟化のお知らせ
- 資料9 処方箋の様式変更について
- 資料10 院内の番号案内表示について
- 資料11 市民公開講座について
- 参考資料1 前回運営委員会 会議録
- 参考資料2 地域医療連携便り vol.13
- 参考資料3 広報誌「くすの木」

5 内容

(1) 開会（司会進行 林担当部長 以下（4）まで）

それでは定刻でございますので、川崎市立川崎病院第3回地域医療支援病院運営委員会を開催させていただきます。本日また進行を務めさせていただきます、事務局担当部長林です。よろしくお願いいたします。

なお、小林委員につきましては体調不良ということで欠席の連絡をいただいております。どうぞよろしくお願いいたします。お手元の次第に沿って進めます。

(2) 病院長あいさつ

病院長の成松です。

本日は先生方お忙しい中、当運営委員会に御出席いただきありがとうございます。

「地域医療支援病院」の承認から半年になりますが、本日はこれまでの当院の活動を報告して、また委員の先生方からは病院のあり方について種々御意見や御要望をいただければと思います。

お手元に届いていると思いますが、「診療のご案内」もようやく出来上がり配布いたしました。これについても後程御意見をいただければと思います。金井先生からは既に御意見をいただいておりますが、そこで一緒に議論したいと思います。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(3) 配布資料の確認

次第、委員名簿、座席表、資料集（資料1～資料11）及び参考資料1～3が、それぞれ各委員にあることを確認。

(4) 議事録署名人選出

「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」等に基づき、会議録の作成、委員による当該会議録の確認等のための議事録署名人を選出（議事録署名人は委員会開催の都度委員長が指名）。

村山委員長から、本日は原田委員を議事録署名人に指名（原田委員了解）。

(5) 会議の公開について（進行 村山委員長）

村山委員長から、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、この運営委員会には非公開事由に該当する事項がないため公開とすることについて確認（各委員にも公開することについて確認）。

村山委員長から傍聴希望者の有無について確認。

藤岡担当課長から、現在のところ傍聴希望者はいないと報告。

(6) 議 題 (進行 村山委員長)

ア 紹介患者の数等について 「資料1 紹介患者の数等について」

(中道整形外科担当部長)

整形外科担当部長の中道です。院内の委員会の一つである「地域医療連携推進・強化委員会」の委員長を務めています。

- ・平成28年度上半期の紹介患者の数及び逆紹介患者の数は、前年同期の平均に比べて少なくなっているが、紹介率は58.6%、逆紹介率は77.2%となっており、地域医療支援病院の要件である「紹介率50%以上」「逆紹介率70%以上」はいずれも満たしている状況である。
- ・ここ3年くらいは、できるだけ当院から逆紹介するよう努めてきた。
- ・患者さんを御紹介いただいた地域の先生方に逆紹介をすることで、次に別の新しい患者さんを御紹介していただく、というサイクルが出来上がってきており、今後は一定の値に落ち着く、と考えている。
- ・紹介患者さんが多いことはとてもありがたいので、地域の先生方には是非とも、今まで以上に御支援をお願いしたい。

イ 非紹介患者初診加算料の件数について 「資料2 非紹介患者初診加算料の件数について」

(佐藤医事課長)

医事課長の佐藤です。よろしくお願ひします。

- ・本年4月1日から診療報酬の改訂があり、500床以上の地域医療支援病院は、非紹介患者初診加算料(選定療養費)が、医科5千円以上、歯科3千円以上と定められた。
- ・しかし、公立病院は条例改正が必要なことから、10月1日実施となっている。
- ・この資料には金額を記載していないが、選定療養費は9月までが2,160円(税込)、10月のみ5,400円(税込)(歯科は3,240(税込))となった。
- ・これにより、別途5,400円を払う患者さんは少し減ったようである(9月と比べて10月は200名減少した)。
- ・外来では事前に患者さんへの説明を徹底したためトラブルはないが、今後、初診患者さんが減ると予測しているため、先生方におかれましては新たな患者さんの御紹介を是非お願いしたい。

(村山委員長)

- ・5,400円に変更することは、大分前から決まっていたことなのか。

(佐藤医事課長)

- ・当院の小児科が一番最初であり、4月になってすぐ周知を始めた。
- ・その後、各診療科から少しずつ時期をずらして周知してきた。
- ・8～9月には、集中的に関係各署に資料を配布して説明した。

(村山委員長)

- ・個人的には、患者数は思ったほど減ってはいないように感じる。

ウ 連携登録医の登録状況等について 「資料3 連携登録医の登録状況等について」
(藤岡担当課長)

地域医療部担当課長の藤岡です。どうぞよろしくお願いします。

- ・平成28年10月31日現在で、計359名の先生方が川崎病院の連携登録医に登録している。
- ・医師は、7月と比べて川崎区は1名増、幸区は2名減、中原区は1名増となっている。歯科医師には変更がなかった。

(鈴木委員)

- ・私は月1回保健所に勤務していて、そこで検診を行っている。また、市の結核審査協議会の委員も引き受けている。
- ・そうした検診をしていると、生活保護受給者の中から、結核等の病気が見つかることもある。
- ・その場合、どの病院に紹介しようかとなり、患者さんに希望を聞くことになるが、「川崎病院に」と答えてもらえれば、すぐにでも紹介したい。
- ・しかし川崎病院は断られることがある、と聞くと、どうすればいいか困ってしまう。
- ・こうした場合の紹介は快く受け入れてほしい、と常日頃より思うところです。

(成松病院長)

- ・保健所の雨宮先生にも今回、連携登録医に登録していただいた。
- ・こうしたことから、連携登録医の先生からの御紹介は原則断らないという方針を改めて確認していきたい。

エ 患者さんの応需状況について (受人困難内容等) 「資料4 平成28年度 緊急受診・入院・転院依頼 応需状況」

(大曾根副院長)

副院長の大曾根です。よろしくお願いします。

- ・4月から9月までの状況を整理した。
- ・当日地域の先生方から受診依頼があった件数と、残念ながら受入できなかった件数を並べて、その結果としての応需率を示している。
- ・概ね月70件前後の依頼があって応需率95%を保ってきたが、9月は90%を切ってしまった。
- ・受入できなかった理由は「手術中」が最も多く、以下P6「1」のとおりである。
- ・入院について9月は1件のみお断り、転院(転入)依頼はいろいろな事情があって応需率80%台だが、お断りの件数自体はそれほど多くない。
- ・緊急受診に対する応需状況は、P6「2」のとおりである。
- ・特にP6「2」「3」その他の診療科のケースでは、地域の先生方をお待たせしてしまうことも少なくないかもしれない。
- ・しかし、何でも受け入れてしまって、後から例えば「手術で対応できない」ということになれば、ますます混乱して迷惑をかけることになってしまう。そうした課題を解決するべく努力していきたい。
- ・100%応需するのはなかなか難しいが、地域の先生方からの緊急の依頼について

はお待たせしない体制づくり、応需率 100%を目指して課題解決を図っていききたい。

(原田委員)

- ・そもそも一般的に言って、応需率 100%を目指すものなのか。

(大曾根副院長)

- ・目標としてそうすべきだと思う。

(村山委員長)

- ・応需率 100%は現実問題として難しいと思うが、それに向けて努力していただくということで、頑張って進めてほしい。

オ 地域の医療従事者を対象とした研修(地域ケア懇談会等)について 「資料5 平成28年度 地域の医療従事者を対象とした研修 実施状況等」

(岡本担当課長)

地域医療部担当課長の岡本です。よろしくお願いいたします。

- ・今年度の研修は 15 回開催しているので、地域医療支援病院の 12 回以上という要件は達成している。
- ・11 月 16 日以降は今後の予定を記載している。なお「19」「11 月 2 日」の講座は担当看護師の体調不良により延期になったものである。
- ・次に「川崎病院第一回地域ケア懇談会」の報告を P8 以降に沿って説明。
- ・運営委員会の原田委員・雨宮委員にも「地域ケア懇談会」に御参加いただいた。
- ・出席者からは、「尿路ストマというものを知らなかったので勉強になった」等の意見もあった。
- ・今後も専門職としての知識を高めることができるよう支援を行っていくことが、地域の基幹病院としての役割であり使命である、と考えている。
- ・患者さんが在宅で安心して暮らし続けるためには、患者家族それぞれの思いを大切に、どのような支援を行っていく必要があるのか、話し合い共有することが重要である、ということも確認した。
- ・川崎病院が急性期病院としての役割を果たし、多様化するニーズに対応し、退院後も住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、今後も地域の保健医療機関、関連職種の皆様とより連携を強化していきたい。

(村山委員長)

- ・「地域ケア懇談会」の院外からの参加者数の内訳(看護師、ケアマネ等)を教えてほしい。

(岡本担当課長)

- ・後程連絡したい。

カ 「診療のご案内」の発行について 「資料 診療のご案内」

(藤岡担当課長)

地域医療部担当課長の藤岡から説明します。

- ・地域の先生方に川崎病院を理解してもらう目的で、昨年「診療のご案内」を発行している。
- ・顔の見える関係づくりの一環として、連携登録医の先生方には、今月の外来診療

担当表の送付に併せて郵送している（委員の先生方にも事前に配布している）。

- ・本委員会では、この「診療のご案内」の内容等に関し御意見等を頂戴できればと考えている。

（村山委員長）

- ・川崎病院の医師の顔写真を掲載しているので、顔の見える関係づくりには有効だと思う。
- ・医師の中には顔写真のない人もいるが、写真を用意できなかったからなのか。

（成松病院長）

- ・顔写真の掲載については初めての試みでもあり、個人情報保護の問題もあって、顔を掲載することにためらう医師もいたので、最終的に強制しなかった。
- ・今後、徐々にこうした取り組みについて理解が深まれば、もう少し協力が得られると思う。順次、顔写真の掲載が増えていくものと期待している。
- ・強制することはできない、ということは理解してほしい。

（成松病院長）

- ・それから、金井先生から事前にメールを頂いていることについて説明したい。
- ・P2「基本理念」の1行目、「病人」という言葉について気にしていらっしゃいました（「多分病人と捉えていない方も来院されていると思う。「人」にはなりませんでしょうか？」）が、この点については理解できますので、別の場所で検討して御報告します。
- ・P7「クレーク」という言葉の説明があった方がいいのではないかと、ということでしたが、その必要があれば説明するようにしたい。
- ・また、各項目の中で患者の表記に関し、「患者」「患者さん」「患者様」とバラバラであるという御指摘があり、その点についても、校正の努力が足りなかったと反省している。
- ・全体的なレイアウトなど院内からもいろいろな意見もあり、次回はもう少しキチンとしたもの改善したものが発行できるよう努力したいので、また次の機会にでも御意見を頂戴したい。

（金井副委員長）

- ・この「診療のご案内」は、連携登録医に利用してもらうためのものと思うが、実際に患者さんを紹介する際、患者さんに医療連携の仕組みを説明するのに利用している。
- ・普通の人が見ても何の問題もないような形にしてほしい、と思い提案した。

（村山委員長）

- ・「診療のご案内」の配布は連携登録医だけなのか。

（藤岡担当課長）

- ・連携登録医以外に近隣の病院にも配布しているが、基本的には医療機関の先生方にみてもらうために作成しており、患者さん向けのものではない。

（原田委員）

- ・病院向けということは理解したが、病院長のあいさつの箇所に、「地域医療連携室」の記載があるが、地域医療連携室を通して話をするのであれば、連携室の職員の顔写真がなかったり、看護の場面の写真がないのは大変残念に思う。
- ・次回は是非顔写真を載せてほしい。
- ・普段から紹介する関係にあるとしても、地域医療連携室と話をする際、顔写真があれば「この職員なら知っている」ということで、より関係が深まり、紹介も円滑になると思う。

・何か事情があったのでしょうか

(林担当部長)

- ・「診療のご案内」の発行は2年目であるが、昨年度は白黒の顔写真ということで、これでもだいぶ中身は良くなってきている。
- ・今後さらに進化させて、判り易いものにしていきたいという思いはある。本日いろいろ御意見を頂戴したので、それを次回に反映できればと考えている。

(村山委員長)

- ・顔の見える関係を作るためには地域医療連携室の職員全員の顔写真を、集団でも構わないので、是非載せてほしいと思う。

(鈴木委員)

- ・参考資料3として広報誌「くすの木」があるが、今回、大曾根先生のお写真が載っている。
- ・予算の問題もあると思うが、顔写真ももっと良いものにしてほしい。

(田邊事務局長)

- ・広報誌「くすの木」編集の責任者です。
- ・確かにカラーでないと伝わりにくいこともあろうかと思うので、来年度以降検討したい。

(村山委員長)

- ・これは、患者さんが見るものなのか。

(田邊事務局長)

- ・2,000 部位印刷して患者さんにお配りしている。
- ・1頁目にブランドメッセージとしてあるが、こうしたことはカラーでないと伝わりにくいので、わかり易いものにしたい。

(村山委員長)

- ・川崎市のマークがかわったのか。

(田邊事務局長)

- ・ブランドメッセージということで新たに設定している。

キ 平成 27 年度 地域医療支援病院業務報告書について 「資料 6 地域医療支援病院業務報告書」

(藤岡担当課長)

- ・地域医療支援病院は、毎年 10 月 5 日までに前年度の報告をする必要がある。
- ・川崎病院は平成 28 年 3 月 30 日に地域医療支援病院の名称承認を得たので、今回から前年度の業務報告を提出することになった。
- ・この業務報告書は何ページにもわたるので、その 1 頁目のみを複写したのが P10 である。
- ・2 頁以降は割愛しているが、業務報告書はホームページで公開することになっているので、P11 に記載した要領で川崎市の HP にアクセスすると、閲覧することができる。

ク 県がん診療連携指定病院の指定に向けた取組について 「資料 7 川崎病院での緩和ケア」及び「がん相談支援センター」

(藤岡担当課長)

- ・県がん診療連携指定病院の指定に向けた取組は多くあるが、その中の一つとして主なものを紹介したい。
- ・P13にあるように川崎病院の緩和ケアにおいては、「がん相談支援センター」「緩和ケアチーム」及び「緩和ケア外来」という形ですすめている。
- ・「緩和ケア外来」は、処方・入院には対応しておらずアドバイスのみで、完全予約紹介制として、毎週木曜日午前に診療している。
- ・こうした紹介のパンフレットを外来に置いて、患者さんに配布している。
- ・参考資料2「地域医療連携便り」の最後のページにも「緩和ケア外来」について説明している。これは連携登録医等に配布することで周知している。
- ・また、「がん相談支援センター」を1階に設けて、どなたでも御相談できるようにしている。

(村山委員長)

- ・「がん相談支援センター」を1階に設置して相談に応じていることはわかったが、「緩和ケア外来」はどういったイメージなのか。緩和ケアの専門医がいるのか。

(成松病院長)

- ・とりあえず緩和ケアを中心に診療体制をつくらなければということで開催したが、いまのところ院内の対応だけで手一杯である。
- ・参考資料2「地域医療連携便り」にもあるとおり、「緩和ケア外来」は内科の田口医師が担当している。
- ・「緩和ケア外来」はスタートしたばかりで体制が不十分であるため、直接地域の先生方から紹介を受けることはしていない。
- ・現在は、一度当院の診療科の外来に受診した上で「緩和ケア外来」に依頼するという形で対応している。これから体制を整備していきたい。

ケ 精神科病棟の改築について 「資料8 精神科病棟の全室閉鎖病棟化のお知らせ」

(齋藤精神科部長)

精神科部長の齋藤です。

- ・当院精神科は9階北病棟に33床あり、開放と閉鎖が半々位であった。
- ・当院が市立病院・基幹病院であり総合病院の精神科であることから、県・市からの精神科救急では、合併症の治療も求められている。
- ・それに応じるためには、閉鎖病床の個室の増床が必要になるが、直ぐには対応できないので、今回、開放病床を全て閉鎖にすることにした(11月1日から)。
- ・この内、特に開放病床であった2人部屋3つを利用して、精神科救急及び合併症の治療受入体制を整備した。
- ・増築あるいは病床を減らすものではないので、届出もしていないが、地域の先生方には資料8のお知らせを郵送して、精神科救急及び合併症の治療をより一層充実させていく、ということを周知した。

(村山委員長)

- ・病室毎に鍵をかけているのか、個室にはしていないのか。

(齋藤精神科部長)

- ・病棟の出入り口に鍵をつけている。個室にしたわけではない。

コ 処方箋の様式変更について 「資料9 処方箋の様式変更について」

(飯島薬剤部長)

薬剤部長の飯島です。

- ・療担規則の中で従来処方箋についてはA5版と決められていた。
- ・その後療担規則の改正があって、必ずしもA5版の必要はないということになり、拡大した処方箋を発行する施設も増えている。
- ・当院においてもA5版では必要事項を書き切れなくなっており、さらに情報を付け加えたいということになったので、10月5日からA4版(P18)とした。
- ・P18の左側は従来の処方箋になっていて、右側が今回新たに付け加えた情報となっている。
- ・右側上段は検査データの欄であるが、2月から記載予定なので現在は空欄である。
- ・右側中段の通信欄は、保険薬局において疑義照会等により処方内容等変更を記載する欄として使用するものである。
- ・従前は非常に小さな欄であったので、今回これを拡大した。
- ・右側下段には、処方データを載せた二次元バーコード(QRコード)を付けたが、これをリーダーで読み込むことで直接薬歴に反映できるようになった。
- ・スタート当初は不具合があって読み取れないトラブルがあったが、現在は解消されている。
- ・従前処方箋には検査データを載せていなかったが、保険薬局が検査値を参照することで、用量・相互作用の確認だけでなく、検査値に基づき状態を把握した上で処方を鑑査し、肝・腎機能に応じた適正な投与量を確認し、副作用を早期発見するなど薬物療法の有効性・安全性向上に貢献しよう、といった方向に変わってきた。
- ・こうして5年位の間、大学病院を中心に院外処方箋に検査データを載せる動きが広まってきたので、当院も基幹病院として昨年準備してきたが、電子カルテのバージョンアップをしたことで、検査データ掲載が可能になった。
- ・今後、近隣の調剤薬局様への説明会を経て、2月に掲載を予定している。
- ・検査項目はここに記載した18項目であるが、項目は随時変更可能なので、実際の運用をみながら、必要に応じて対応していきたい。
- ・直近3か月以内の検査データを掲載することになるが、3か月以内にデータがない項目は空欄として取り扱うことになる。
- ・個人情報の取り扱いについては厚労省のガイドライン・Q&Aがあり、患者に適切な医療サービスを提供する目的で必要と考えられる個人情報の利用範囲について施設内掲示により明らかにしておき、患者側から特段明確な反対・留保の意思表示がなければ、それらの範囲内で個人情報の利用について同意が得られたものとしてよい、とのことである。
- ・当院のHPにも個人情報保護方針を公開しており、こうしたガイドラインに則って、処方箋に検査データを掲載することを可能にしている。

(高橋委員)

- ・このQRコードはまだ直っていないのではないか。
(飯島薬剤部長)
- ・至急確認する。
(高橋委員)
- ・小型のプリンターからA4の処方箋が出力できるのか。
(飯島薬剤部長)
- ・富士通が対応している。また確認して連絡したい。
(高橋委員)
- ・処方欄の中に塗る部位の記載がないと返戻になってしまう。湿布薬でも何枚貼るのか細かい記載がないと同様に返戻となる。
- ・残薬の問題から最近こうした細かい記述を必要としている。
(飯島薬剤部長)
- ・そうした事項については再三にわたって医師にフィードバックしている。
(高橋委員)
- ・処方箋に掲載する検査データは患者向けではないのか、正常値は載せないのか。
(飯島薬剤部長)
- ・患者には医師から口頭で正常値の説明があり、また別途書面でも説明している。
- ・今回は処方内容をチェックする目的で、薬剤師向けに記載するものである。
(村山委員長)
- ・これは、ダブルチェックの意味もあると思うが、検査値に異常があれば、処方箋を書いた医師に直ぐ連絡が来るのか。
- ・医師はそれと承知の上で処方した、とするならば、毎回調剤薬局から連絡が来るとなると混乱してしまうことも考えられる。こういったケースを想定しているのか。
(飯島薬剤部長)
- ・従前から、添付文書にある用法・用量から逸脱しているような場合であっても、同一の保険薬局であれば、通常二度目からは疑義照会しないケースが多いと聞いている。
- ・今回もそれと変わらないものである、と考えている。
(村山委員長)
- ・一度は問い合わせがあるということか。
(飯島薬剤部長)
- ・その可能性はあると思う。

サ 院内の番号案内表示について 「資料 10 院内の番号案内表示について」

(勝野庶務課長)

庶務課長の勝野です。どうぞよろしくお願ひします。

- ・これまで当院の外来は、総合受付、会計など番号が付番されている部署と、診療ブース・検査ブース等番号のない部署が混在していた。
- ・このため、患者さんには部署名で御案内しなければならず、大変判りにくい状況だった。
- ・また、各種表示もデザインやフォントがマチマチで、見栄えもよくなかった。
- ・こうした状況を改善するため、昨年からは院内のワーキンググループにおいて、外

来表示の再構成を検討してきた。

- ・このワーキンググループにおいては、①部署毎に番号を付番、②番号帯をエリア別に整理、③案内表示のデザインも統一、といった視点で検討した。
- ・その結果、資料 10 (P11～P12) のように色分けして付番することになった。
- ・1階の内科及び外科は「緑色」で付番し、救命救急センターは「赤」、受付・相談は「青」、放射線科中心の検査ブースは「オレンジ」という色分けをした。
- ・現在、順次表示を入れ替えており、年度内を目標に外来2～3階フロアを整理する。また患者さん向けにフロアマップを印刷して掲載する予定である。

シ 市民公開講座について 「資料 11 市民公開講座について」

(林担当部長)

- ・川崎市立病院は3病院あるが、毎月市民公開講座に取り組んでいる。
- ・川崎病院では12月16日14時からP22にあるように市民公開講座を開催する予定である。
- ・これについても「市政だより」で御案内するなど周知を予定している。

ス その他

(林担当部長)

次回委員会の開催は2月6日(月)13時30分からと御案内し、地域医療の充実に向け引き続きアドバイスをお願いしたい、とした。

セ その他

(原田委員)

- ・緩和ケア外来のことだが、かかりつけの先生から診療科の医師につないだ上で、利用することになるのか。
- ・参考資料2「地域医療連携便り」に「紹介医の診療の併診として診察」と記載してあるが、よくわからない。
- ・実際に、在宅の患者さんが緩和ケア外来に受診したいとした場合、どうなるのか。

(成松病院長)

- ・その場合は、地域医療連携室に連絡をいただき、当院の担当医の診察を受けてから、緩和ケア外来に受診することになる。
- ・その担当医は相談して決めることになる。診療枠の問題で難しいこともあるが、まずは適当な診療科に受診していただく必要がある。

(原田委員)

- ・この緩和ケア外来は現在まで、在宅の患者さんを診療した実績はないのか。

(大曾根副院長)

- ・院外の患者さんまでは、現在のところ対応できない状況である。
- ・ゼロから始めたところなので、今は院内のがん患者さんについて当院の主治医とともに緩和ケアの診療に当たっている。

(原田委員)

- ・訪問看護ステーションでは、在宅でがん患者を看取ることが大変増えている。

- ・川崎病院に緩和ケア外来があれば、今後活用したい事例が増えてくることが予想されるが、現在そのような体制にないのであれば、今後の整備に期待したい。

ソ その他

(成松病院長)

活発な御意見をいただきありがとうございました。本日の御意見を参考にして、さらに地域医療支援病院として、内容を向上させないといけない、と思います。職員一同研鑽してまいりますので、また忌憚ない御意見を是非お願いいたします。

(7) 閉 会

(村山委員長)

閉会とします。

議事録署名人

川崎市立川崎病院 地域医療支援病院運営委員会

委 員 _____ 印

川崎市立川崎病院 第4回 地域医療支援病院 運営委員会

次 第

平成29年2月6日（月）

13時30分～14時30分

川崎病院4階会議室

1 開 会

2 病院長あいさつ

3 議事録署名人選出

4 傍聴人の確認・入室

5 議 題

- | | | |
|----------------------------|-------|-----|
| (1) 紹介患者の数等について | 資料 1 | P 1 |
| (2) 非紹介患者初診加算料の件数について | 資料 2 | P 2 |
| (3) 救急医療の提供の実績について | 資料 3 | P 3 |
| (4) 応需状況について | 資料 4 | P 5 |
| (5) 連携登録医の登録状況等について | 資料 5 | P 7 |
| (6) 医療機器共同利用について | 資料 6 | P 9 |
| (7) 地域の医療従事者を対象とした研修について | 資料 7 | P10 |
| (8) 地域住民・団体等への周知活動について | 資料 8 | P16 |
| (9) その他の取組 | | |
| ア 県がん診療連携指定病院の指定に向けた取組について | 資料 9 | P17 |
| イ 医療機能再編整備基本構想（案）について | 資料 10 | P24 |
| ウ 市民公開講座について | 資料 11 | P27 |

6 その他

- (1) 平成29年度運営委員会の開催日程について
- (2) その他

7 閉 会

参考資料 1 前回運営委員会 会議録

参考資料 2 地域医療連携便り vol. 14

参考資料 3 広報誌「くすの木」

川崎市立川崎病院
第4回 地域医療支援病院運営委員会 会議録

- 1 開催日時 平成 29 年 2 月 6 日（月）13 時 30 分～14 時 30 分
- 2 開催場所 川崎病院 4 階会議室
- 3 出席者

(1) 委員

村山 均	(委員長)	川崎市医師会副会長
金井 久弥	(副委員長)	川崎市歯科医師会会長
鈴木 真		川崎市医師会会長
田角 喜美雄		幸区医師会会長
髭内 宏光		幸区歯科医師会副会長
高橋 義和		川崎市薬剤師会会長
小林 由紀子		幸区薬剤師会会長
原田 美根子		川崎市看護協会常務理事
深瀬 欣之助		川崎市中央地区連合町内会会長
田崎 薫		川崎市健康福祉局保健所長
雨宮 文明		川崎市役所保健福祉センター所長

(2) 川崎病院

成松 芳明	病院長
竹中 信夫	副院長
大曾根 康夫	副院長
綱嶋 たかえ	副院長
田熊 清継	救命救急センター所長
中道 憲明	整形外科担当部長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
飯島 尚志	薬剤部長
田邊 雅史	事務局長
林 徳厚	事務局・地域医療部担当部長
川野 保夫	放射線診断科担当課長
勝野 隆	庶務課長
佐藤 康明	医事課長
岡本 朋江	地域医療部担当課長
藤岡 亮太	地域医療部担当課長

4 資料

川崎市立川崎病院 第4回 地域医療支援病院 運営委員会 次第
委員名簿

座席表

資料1 紹介患者の数等について

資料2 非紹介患者初診加算料の件数について

- 資料 3 救急医療の提供に実績について
 - 資料 4 緊急受診・入院・転院依頼応需状況
 - 資料 5 連携登録医の登録状況等について
 - 資料 6 医療機器共同利用
 - 資料 7 地域医療連携研修会実施状況
 - 資料 8 地域住民・団体等への周知活動について
 - 資料 9 県がん診療連携指定病院の指定に向けた取組について
 - 資料 10 医療機能再編整備基本構想（案）
 - 資料 11 市民公開講座
- 別添 平成 29 年度運営委員会開催日程について
- 参考資料 1 前回運営委員会 会議録
 - 参考資料 2 地域医療連携便り vol.14
 - 参考資料 3 広報誌「くすの木」

5 内 容

(1) 開 会（司会進行 林担当部長 以下（4）まで）

それでは定刻でございますので、川崎市立川崎病院第 4 回地域医療支援病院運営委員会を開催させていただきます。本日、進行を務めさせていただきます、事務局担当部長林です。よろしくお願いいたします。

それでは、お手元の次第に沿って進めます。

(2) 病院長あいさつ

病院長の成松です。

本日は、先生方のお忙しい中、当運営委員会に御出席いただきありがとうございます。

「地域医療支援病院」の承認からほぼ一年になりますが、まだまだ至らぬ点もたくさんございます。本日は活動の経過を報告するとともに、いろいろ御指摘・御質問いただければと思います。

もう一つ報告がありますが、当院は「県がん診療連携指定病院」の指定を目指しているところ、先月県のヒアリング・現地調査があり、指定いただける見通しとなりました。後程少しお話ししますが、「県がん診療連携指定病院」となれば、地域の先生方とより一層の連携をお願いし、またいろいろと御相談をさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

(3) 配布資料の確認

次第、委員名簿、座席表、資料集（資料 1～資料 11）、参考資料 1～3 及び「平成 29 年度開催日程について」の 8 種類の資料が、それぞれ各委員にあることを確認。資料 4 P5 で、「入院依頼」「応需率」「計」「64.2%」は誤りで、「84.2%」に修正。

(4) 議事録署名人選出

「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」等に基づき、会議録の作成、委員による当該会議録の確認等のための議事録署名人を選出（議事録署名人は委員会開催の都度委員長が指名）。

村山委員長から、本日は深瀬委員を議事録署名人に指名（深瀬委員了解）。

(5) 会議の公開について（進行 村山委員長）

村山委員長から、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、この運営委員会には非公開事由に該当する事項がないため公開とすることについて確認（各委員にも公開することについて確認）。

村山委員長から傍聴希望者の有無について確認。

藤岡担当課長から、現在のところ傍聴希望者はいないと報告。

(6) 議 題（進行 村山委員長）

ア 紹介患者の数等について 「資料1 紹介患者の数等について」

（中道整形外科担当部長）

整形外科の中道です。

- ・資料上段に平成28年度4～12月の結果を示している。
- ・比較のため資料下段には平成27年度一年間の結果を示している。
- ・資料上段にあるとおり、今年度の紹介率・逆紹介率ともに、承認要件を10%程度上回っている状況である。

（村山委員長）

- ・月数が異なるので絶対数では比較できない。月平均で比較できるようになっているのか。

（中道整形外科担当部長）

- ・月平均の実数でみると、今年度は少なくなっている。

イ 非紹介患者初診加算料の件数について 「資料2 非紹介患者初診加算料の件数について」

（佐藤医事課長）

医事課長の佐藤です。

- ・診療報酬改訂があり、非紹介患者初診加算料（選定療養費）が10月1日から5,400円に上がった影響もあり、非紹介患者数が減っている。
- ・今後紹介患者さんを増やしていきたいので、是非患者さんの紹介をお願いします。
- ・窓口で説明すると患者さんには御理解いただけている、今のところ大きな苦情もなく、5,400円支払われている。
- ・中には金額が大きいということで、地域の先生を紹介しているケースもある。
- ・引き続き連携をお願いします。

（村山委員長）

- ・大きなトラブルはないということですね。

ウ 救急医療の提供に実績について「資料3 救急医療の提供に実績について」

（田熊救命救急センター所長）

救命救急センター所長の田熊です。よろしく申し上げます。

- ・「救急医療の提供について」の平成28年度の表に「救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数」とあり「5,068人」となっているが、これはほとんど救急車の数である（パトカーの場合もある）。
- ・このうち、1,774人が入院していて、約35%が入院している。

- ・「上記以外の救急患者の数」はいわゆるウォークインで受診した患者さんの数で「17,287人」入院が「1,470人」で約8.5%が入院していることになる。
- ・平成27年度もほぼ同様の傾向であった。
- ・P4のグラフで、青い線に「全2次」とあるのは、横浜・東京も含めた全ての数値で、赤い線は「川崎市のみ」の2次である。
- ・全3次は緑の線に示しているが、三次救急は2～3%断わっているだけで、それ以外は全て応需している。
- ・二次救急に関しては、2015年2月以降、お断りの率を10%位に改善している。
- ・当院は救急救命センターで、川崎南部地区の重症患者の唯一最後の砦となっており、三次救急患者は断らない方針である。
- ・今後は二次救急患者も、診療スペースの拡張、増員等によってもう少し改善していきたい。

(村山委員長)

- ・このグラフの縦軸は「%」で非応需率を表しているのか。

(田熊救命救急センター所長)

- ・非応需の率で「%」である。

エ 応需状況について「資料4 緊急受診・入院・転院依頼応需状況」

(大曾根副院長)

- ・他の医療機関からの「当日緊急受診依頼」「入院依頼」「転院依頼」の応需状況である(4～12月)。
- ・「当日緊急受診依頼」では100%応需は難しく、手術中であつたり、感染症病棟が満床であつたりして受け入れできないケースが数件あつた。
- ・「入院依頼」では、数が激減しているように見えるが、連携が円滑になっており、「まず受診してほしい」という形で「当日緊急受診依頼」の項目として算定するようになった。こうしたことから、最初から「入院依頼」としていた件数が少なくなっている。
- ・できるだけ病床を空けて、地域の先生方からの受入態勢を確保しているため、「入院依頼」の応需率は84.2%になった。
- ・P6にあるとおり、11～12月の非応需の理由は手術中、受入救急患者の経過観察、救急車ダイバージョン中となっている。
- ・しかし、地域の先生方から依頼いただいて回答するまでの時間についてはまだ十分でないということで、今後、どうしても当院の担当医師と連絡が取れない、調整できない際には、内科系の場合は私が、外科系の場合は竹中副院長が対応して、当面の応需を満たすようにしたい。
- ・できるだけ応需100%を目指すようにしていきたい。

(原田委員)

- ・応需状況の数について、一般の人が倒れて救急車で来院する数も含んでいるのか。

(大曾根副院長)

- ・ここで表示している数は一般の患者さんからの依頼は含んでいない。地域の医療機関から依頼があつたケースのことについてである。

(鈴木委員)

- ・ 1 か月位前に鈴木医院で実際にあったことだが、結核を証明できた患者がいたので、とりあえず川崎病院へと思ったが、「結核菌の証明がなされていれば川崎病院は応需できない」「井田病院にお願いします」と言われた。
- ・ 川崎市では井田病院が結核病院なので、そのとおりと思って、その患者(50歳代)には自身でタクシーを利用して井田病院に行ってもらった。
- ・ しかし、高齢の結核患者の場合は井田病院は遠いので、受診するかわからない。
- ・ 10年位前のことだが、実際に井田病院に御案内をしても結局行かなかった患者もいた。
- ・ 川崎病院では結核患者は診ないとしても、一時隔離する部屋を用意してもらえればと思う。一時収容していく方向で改善してもらいたい。

(院長)

- ・ 今答えるとすれば原則を述べることになる。患者の状況にもよるが、個々のケースで対応を検討するのであれば、感染症の専門医が検討しなくてはならない。
- ・ なるべくそうしたルートはつくりたいと思う。
- ・ しかし、患者がお元気であれば井田に行くのが原則である。
- ・ 呼吸に問題があれば、救急対応として、一時的に引き受けることはありうる。

(田熊所長)

- ・ 切迫した呼吸困難等呼吸状態が悪い場合は90%以上救急で応需できると思う。
- ・ 特に三次対応で生命にかかわるような場合は救急が引き受けることになる。
- ・ しかし、症状が安定している患者には、タクシーで井田病院に行ってほしい。
- ・ 川崎病院の救急で結核をチェックをして、井田病院に紹介することもできる。

(鈴木委員)

- ・ 結核菌が証明されていなければ確定診断を行うため川崎病院に紹介する、結核菌が証明されていれば、川崎病院では診れないということだが、高齢の患者にとって井田病院は遠いので、一時的にでも川崎病院の隔離病棟に収容して、その後、井田病院に送るようにしてほしい。
- ・ 病状が切迫していれば川崎病院の救急が診る、ということはわかったが、病状が切迫していない場合であっても、井田病院は遠いということについて、配慮してほしい。

(院長)

- ・ 個々の症例で対応を確認したい。

オ 連携登録医の登録状況等について「資料5 連携登録医の登録状況等について」

(藤岡担当課長)

地域医療部担当課長の藤岡です。どうぞよろしく申し上げます。

- ・ 前回委員会で報告した平成28年10月31日と今回とを比較して、9名増加し、計368名の先生方が川崎病院の連携登録医に登録している。
- ・ この間、新規に登録した先生方はP8にあるとおりであります。

(金井副委員長)

- ・ 新規登録の医師は、何月位に登録したのか、およその時期を明記してほしい。

(藤岡担当課長)

- ・そのように改善します。

カ 医療機器共同利用について「資料6 医療機器共同利用」

(岡本担当課長)

地域医療部担当課長の岡本です。よろしくお願いします。

- ・地域医療支援病院の承認要件の一つである「医療機器の共同利用」について、11月12月は、それ以前の月と比べて少ない件数だが、例年11月12月は少ない傾向である。
- ・全体的にはCTの件数が12月は8件と少なくなっている。

キ 地域の医療従事者を対象とした研修について 「資料7 地域医療連携研修会実施状況

(岡本担当課長)

引き続き説明します。

- ・地域の医療従事者を対象とした研修について報告するので、お手元の資料7を御覧ください。
- ・地域医療支援病院の承認要件として年12回以上の研修があり、今回は診療部用と看護部用で分けて報告する。
- ・診療部では11月3件、12月、1月と各科で研修を開催している。
- ・最近では1月20日に、リウマチ膠原病痛風センターが「リウマチ膠原病セミナー」を開催している。
- ・2月24日が最後となり、川崎病院・幸区・川崎区医師会の「幸・川崎病診Net」という名称で、当院の西澤医師、片山医師の講演等を予定している。
- ・看護部の地域の医療従事者を対象とした研修では、当院の認定看護師を中心に公開講座を行っている。
- ・また、地域の老健施設、特養等で出張講座として、講義を行っている。
- ・「12」欄で、1月19日(木)に行われた「地域ケア懇談会」について、今回説明したい。
- ・「川崎病院第2回地域ケア懇談会」の報告をP12以降に沿って説明。
- ・「地域ケア懇談会」は1月19日(木)18時30分～20時に行われ、参加人数は63名で、そのうち院外は10施設17名の参加があった。
- ・17名の職種としては、医師1名、看護師8名、社会福祉士1名、介護支援専門員5名、等々であった。
- ・今回の懇談会は『「家に帰りたい」という患者の思いを支える』をテーマとして、当院を退院して自宅で看取りまで行うことができた事例について、地域の方々を含めた6名をシンポジストにお招きして発表した。
- ・アンケートの結果がたくさんあるが、P13「5評価」を参考にしてほしい。
- ・P15の「考察と今後の課題」について報告したい。
- ・地域ケア懇談会は昨年度より開催され、今回で4回目の開催となった。今回のテーマは、『「家に帰りたい」という患者の思いを支える』という内容で、一人の事

例を元に様々な職種の方々からの関わりを報告するシンポジウム形式で発表会をした。

- ・シンポジストの発表は、患者の入院から始まり、自宅に帰り最期を迎えるまでの流れが、非常に分かりやすい内容であった。
- ・アンケート結果には、「感動的な話が聞けて、とても良かった」等の意見が多くあり、多職種間で連携を強化することで、こんなにも幸福な最期を迎えることができる、ということ会場全体で実感することができた、と感じている。
- ・その他、アンケートの自由記載欄に多くの記載があった。
- ・「地域の多職種とのつながりができることはとても素晴らしい」「病棟から在宅への連携がすばらしい事例。本人や家族の思いをつないでいく大切さを感じた」「とてもすばらしい連携で、患者さんと家族の思いをつなげていた事例で涙が出た」「このような事例が増えるよう、日々の看護で活かしていきたい」「家に帰りた」というテーマは素敵。発表は感動した」「家族・本人の力、そして医療者の力を感じた」「グループワークはなかったが、とても充実した話が聞けてよかった」等たくさんの意見があった。
- ・このシンポジストの発表にかなり時間がかかり、その後予定していたグループディスカッションは行うことができなかったが、かなり満足の得られる結果であった。
- ・川崎病院では、職員それぞれが退院支援で必要な意思決定支援と方向性の共有、療養環境の調整と整備に向け、確実に前進していると感じている。
- ・専門職としてそれぞれが役割発揮を行うことで、連携強化につながることができ、患者家族の「家で過ごしたい」という気持ちを最大限尊重した「支える体制」の構築につなげることができている、と思う。
- ・今後も「揺れ動く思いに寄り添いながら一緒に考え、支援を行っていきたい」、そしてそのためにも地域の方々との交流の場としての「地域ケア懇談会」を活性化できるよう、よりよい企画運営に努めていきたいと考えている。

(村山委員長)

- ・シンポジストはどのような基準で選出したのか。

(岡本担当課長)

- ・川崎病院では、退院支援看護職員として2病棟に1人看護師を配置している。
- ・現在、看護師6人で退院支援を行っているが、これらの病棟の中でとても心に残った退院調整ということで挙げた事例である。
- ・訪問看護師、ケアマネ、病棟看護師の連携がとてもよかった成功事例として今回報告したものである。

(村山委員長)

- ・この時点ではこのシンポジストは、川崎病院の連携登録医ではなかったと思う。

(成松院長)

- ・これはどのようにしてシンポジストを選んだのか。

(岡本担当課長)

- ・患者さんの症例を選定した。とても感動的な事例であった。

(成松院長)

- ・症例の対応施設ということで選んだわけである。

(村山委員長)

- ・なるべく、医師会の方にもこういう提案をして、訪問診療についてもそこから例を流していってもらえれば、ということもお願いしたい。

(原田委員)

- ・別のことで質問したい。
- ・今回看護師の研修の出張のリストをいただきありがたい。参考にしたい。
- ・老健施設に派遣した場合、当該施設以外の職員も来ているのか。

(岡本担当課長)

- ・社会福祉協議会の人材チラシで全ての保健師さん宛いろいろな施設にお知らせをされていて、実際に来ていただいている。

(原田委員)

- ・看護協会の中にも、施設の看護師として働いている人も多いので緩和ケアの情報等いろいろな情報を伝えなければいけない、と思っていた。
- ・病院でしっかりやっけていただいているが、できれば井田病院も含めてトータルに情報提供してもらえるとありがたい。

(岡本担当課長)

- ・お知らせは看護協会にも渡している。

(原田委員)

- ・社協からはもらっている。

(岡本担当課長)

- ・平成 29 年度に関しては井田病院とも連携をとりながら一緒にやる予定である。

ク 地域住民・団体等への周知活動について 「資料 8 地域住民・団体等への周知活動について」

(林担当部長)

担当部長の林でございます。

- ・昨年 4 月第 1 回の運営委員会で深瀬委員から意見をいただき、まず、川崎区の連合町内会で説明し、今回、川崎区内の老人クラブ連合会中央地区及び田島地区に出張し、地域医療連携の周知等を行った。
- ・今後も大師地区の老人クラブ連合会、川崎区民生委員児童委員協議会にも出張して地域医療連携の説明をする予定である。
- ・がん相談支援センターについても、今後、地域に周知していきたい。

ケ 県がん診療連携指定病院の指定に向けた取組について 「資料 9 県がん診療連携指定病院の指定に向けた取組について」

(藤岡担当課長)

地域医療部担当課長の藤岡です。どうぞよろしく申し上げます。

- ・平成 28 年 9 月 30 日に申請書を提出し、29 年 1 月 20 日には県の担当職員が当院に現地調査に来てヒアリング等を行った。
- ・3 月には県の協議会で審議し、4 月にはがん指定病院に指定いただけると期待し

ている。

- ・こうした取り組みの中で、いくつかの項目について報告したい。
 - ・資料9-1「がん相談支援センター」の相談内容等について説明する。
 - ・このグラフにあるようにがん相談の件数は増えてきている。
 - ・がん患者の「相談内容」では、「不安・精神的苦痛」が最も多く、がん相談員の対応では「傾聴・語りの促進支持的な対応」が一番多くなっている。
 - ・「相談内容」では、がんと診断されて病状、治療、生活について考えが混乱して不安な気持ちで相談室に来る方が多い。
 - ・「対応内容」では、相談者ががん相談員と語りながら考えを整理した後に、相談者自身で決断し行動に移していけるよう支援をしている。
 - ・資料9-2「がん検診について」説明する。
 - ・川崎病院では、胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がんを行っており、最近胃カメラの枠を増やした。
 - ・資料9-3「がん地域連携クリティカルパスについて」説明する。
 - ・これは、がん患者が高度ながん診療を行う病院で手術・化学療法等を受けた後、近所のクリニックなどかかりつけの先生とも一緒になって患者の経過をみていくとする取り組みである。
 - ・かかりつけ医と当院が検査結果、経過の情報を定期的に共有して2人の医師が主治医を務めることで、より手厚いがん診療を行えるようになる。
 - ・こうした取り組みに関心があるかどうか、地域の先生方に調査したところ、P21にあるとおり25名の先生方からそれぞれのがんについて連携したいとの回答があった。
 - ・今後、こうした先生方を中心にして、「がん地域連携クリティカルパス」を進めようと考えている。
 - ・続いて「緩和ケア研修会」について説明する。
 - ・この研修は、毎年当院で開催しているが、平成29年は5月27日及び28日の2日間を予定している。
 - ・医師会のホームページにも掲載するので、地域の先生方も参加していただきたい。
 - ・次に「敷地内全面禁煙」について説明する。
 - ・電子タバコについても全面禁煙としたことを改めて周知した。
- コ 医療機能再編整備基本構想（案）について 「資料10 川崎市立川崎病院医療機能再編整備基本構想（案）に対する市民意見募集について」
（大曾根副院長）
- ・資料10を御覧ください。
 - ・当院は建築から18年経過し、病院が狭隘になってきた。
 - ・開院時には、救命救急センターもなかった。
 - ・今年度は機能再編「基本構想」、2017年度「基本計画」策定、2018年度「基本設計」策定、2019年度「実施設計」、2020年度「着工」予定である。
 - ・現時点でまとめた基本構想がP25である。
 - ・基本的な考え方としては、1～4の図にあるとおりである。

- ・強化・拡充する機能としては P26 にあるように 1 救急機能、2 がん診療機能、3 小児・周産期医療機能、4 その他政策的医療等と地域連携、5 手術機能、6 検査機能等、7 外来・入院機能、8 診療サポート機能、9 人員体制・職場環境整備である。
- ・今後の経営状況等を考慮に入れながら整備していくことになる。
- ・具体的には別棟を建築して新たな機能を入れることになる。
- ・P24 にあるとおり、市民に公開して意見を募集している。
- ・来年度の基本計画につなげていきたいと考えている。

(村山委員長)

- ・別棟を建てるのは同じ敷地内なのか。

(大曾根副院長)

- ・別棟の位置は、救急外来の後方又は病院の前面など検討している。
- ・救急部門とは別に、洪水等災害に備えてエネルギー棟の建築も予定している。

コ 市民公開講座について 「資料 11 市立川崎病院市民公開講座」

(林担当部長)

担当部長の林でございます。

- ・市民公開講座について、2月17日金曜日に予定している。
- ・市民にも御案内しているところである。

サ 平成 29 年度運営委員会開催について「資料 平成 29 年度運営委員会開催日程について」

(藤岡担当課長)

- ・地域医療支援病院では、当運営委員会を原則四半期に 1 回開催する必要がある。
- ・このため、平成 29 年度開催日程について、予め決めておきたい。
- ・既に次回委員会の日程は平成 29 年 5 月 22 日 (月) 13 時 30 分～14 時 30 分と御案内している。
- ・平成 28 年度の開催日は全て月曜日であり、この開催日に近い日程で予定したいと考えると、平成 29 年度は、
第 2 回 平成 29 年 7 月 31 日 (月)、
第 3 回 平成 29 年 11 月 6 日 (月)、
第 4 回 平成 30 年 2 月 5 日 (月) となるので、ここに提案したい。
- ・このことについて御意見等あればと思う。

(村山委員長)

- ・余程のことがなければこの日程でいいと思う。皆様もよろしくお願ひしたい。

シ その他

(林担当部長)

- ・参考資料として「地域連携便り」「くすの木」「前回の会議録」を用意したので後程御覧ください。

(雨宮委員)

- ・鈴木委員から結核患者のことについて話があった。このことについて話したい。
- ・結核については、保健所として大きな問題と認識している。
- ・4年間保健所に在籍しているが、川崎区内に結核患者は非常に多く、こうした事例はたくさんある。
- ・排菌している結核患者でも、週末になると井田病院は応需しないとしているので、保健所は板挟みになってしまう。
- ・こうした場合、病状にもよるが一度自宅に帰ってもらって、改めて井田病院に行くことになる。
- ・病状が悪ければ川崎病院の救急で受診することもあるが、そこまで切迫していないが重症の患者はいる。
- ・市立病院の感染症として、両病院で摺合せできないか、お願いである。

(院長)

- ・検討させてください。

7 閉 会

(院長)

いろいろ御意見いただきありがとうございました。

御意見を踏まえ、今後の病院運営に努めてまいります。

議事録署名人

川崎市立川崎病院 地域医療支援病院運営委員会

委 員 _____ 印

(様式例第19) 患者相談の実績 その1

患者相談を行う場所	相談窓口・ <u>相談室</u> ・その他()
主として患者相談を行ったもの (複数回答可)	医療ソーシャルワーカー 6名(常勤3名 非常勤3名)
患者相談件数	26,589件
患者相談の概要	
1 主な相談内容 1) 受診・受療援助 2) 医療費や生活費に関わる経済的問題(各種保険制度、医療費助成制度、生活保護等) 3) 退院援助相談(在宅への退院、移転院・他施設への転院や入所) 4) 児童・高齢者虐待に関すること 5) 医療・福祉サービス活用援助(自立支援サービス、介護保険サービス)等	
2 主に連絡を取り、連携を取り合う地域の関係機関 1) 経済的問題—区役所(福祉事務所、障害者担当、国民健康保険担当)、加入の健康保険者 2) 在宅生活についての支援—地域包括ケアセンター、担当ケアマネージャー、区役所(高齢者担当、障害者担当、児童担当) 3) 医療・福祉サービス—区役所関係部署(高齢者担当、障害者担当、児童担当) 4) 転院・施設入所について—療養病院、回復期リハビリ病棟、緩和ケア病棟等の担当MSW	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式例第19) 患者相談の実績 その2

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・ その他 (アドボカシー相談室)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	アドボカシー相談員2名
患者相談件数	250 件
患者相談の概要	
<p>・胃痛で内科を受診したときに検査もしないで胃薬を処方された。次の日症状が悪化し別のクリニックに言ったら腸閉塞と言われた。</p> <p>・胸部大動脈瘤の手術のときに体の中に管を入れている。インプラントなのに病院ではカードを出してくれない。</p> <p>・テニス肘で受診した。スポーツをしているのでスポーツ専門医を勧められたが、どこに行けばいいかわからない。病院の名前など具体的に教えて欲しかった。</p> <p>・予約の日子供たちが熱を出していけなくなった。落ち着いてやっと思えるようになったので病院に電話をしたら予約は取ることができないと言われた。ルール、ルールとばかり言うのではなくもっと柔軟に対応して欲しい。</p> <p>【職員の対応に関して】</p> <p>・担当のワーカーさんの対応が悪い。人として対応してくれていない。とげのある言い方。</p> <p>・病棟看護師の思いやりの無い言動</p> <p>・総合案内で初診料がかかるかもしれないとか2から3時間待つかもしれないとか曖昧な言い方。</p> <p>・「待ち時間が長い」と言ったら「他のクリニックに行ってください」と言われた。</p> <p>・医師は患者の目も見ずに話も聞いてくれない。</p> <p>【その他】</p> <p>・川崎病院は医師がころころ変わりすぎる。経過説明をするのも大変だし信頼関係を築くのも大変である。</p> <p>アドボカシー患者相談は、医療に関する患者・家族の不安、疑問、苦情等の解決に努めることにより、患者・家族と医療者間の相互理解を深め、医療安全及び患者サービス向上を図ることが目的です。相談員は患者・家族が抱く不安、疑問、苦情を受け止め、患者・家族の利益・権利を尊重しながら、問題解決のための活動(調査、調整等)・支援を行なっています。</p>	
<p>2 対策等</p> <p>ア 個別に対策を講じ、相談者に回答している。</p> <p>イ アドボカシー事例集を作成し、職員の啓蒙活動を行っている。</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構による評価(平成27年12月15~16日)	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 地域の医療機関様宛「外来診療担当表」を毎月送付している。 地域の医療機関様宛「地域医療連携便り」を年3回発行し、送付している。 当院のホームページで地域医療連携室の頁を設けて掲載している。	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 医師・看護師・MSWなど多職種で連携して退院調整を実施している。 28年度実績(件数) 退院調整会議 829件 退院時医療処置 4584 訪問看護関連 219件 訪問診療関連 200件 ケアマネージャー調整 370件 在宅酸素導入 91件	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 神奈川脳卒中地域連携パス 28年度 23件 大腿骨頸部骨折地域連携パス 28年度 28件 ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 神奈川東部脳卒中の会に参加している。 神奈川脳卒中広域シームレス医療研修会に参加している。 各医療機関主催の地域連携の会に参加している。	